

非常業務放送装置 インテリジェントPAシステム

型
名 **EM-E900**シリーズ

取扱説明書

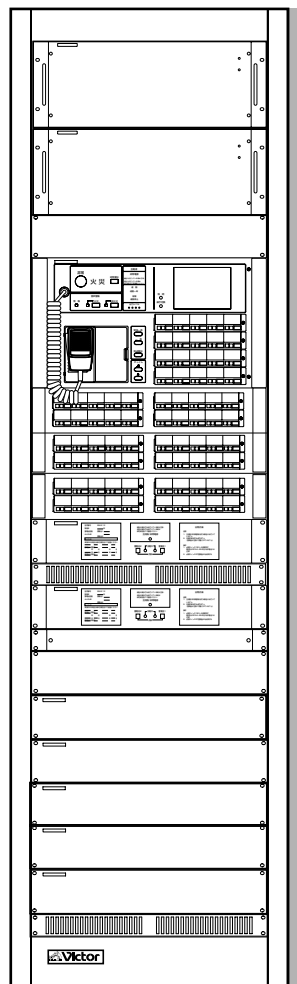
販売店様へ

本システムの設定状態を 16 ページに
記入のうえ、お客様にお渡しください。

ご購入ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「安全上のご
注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお
読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際は
は本機の背面に製造番号が正しく記されているか、また
その製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致
しているかお確かめください。



私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この説明書は再生紙（古紙100%）を使用しています。

このたびは
インテリジェントPAシステム
EM-E900 シリーズ
をお買い上げいただき
ありがとうございます。

特長

大規模な建築物にも対応できる非常業務放送です。

消防法施行規則、技術基準に対応した自動音声警報機能の搭載によって、非常時により的確な情報伝達と誘導放送が可能です。

非常放送は、大型の液晶表示と音声の操作ガイドにより、確実な操作が可能です。

最大320のスピーカー回線を、業務ブロック放送、BGMブロック放送、報時チャイム、電話ページングなど機能別／用途別に任意のグループにまとめて放送できます。

業務放送の優先順位を必要に応じ設定できます。

コンピューターによる自動診断機能により、機器の異常状態を液晶表示と電子音でお知らせします。

BGM放送、呼び出し放送、定時放送、コマーシャルなどを同時に別々で放送できます。

(マトリックス(多元) 放送)

非常業務遠隔操作器により離れた場所から放送ができます。

非常操作練習機能により感知器起動、発信機起動、手動起動の操作練習ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

 ご注意

操作上の注意が書かれています。

 メモ

機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 目次

参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書ではTM、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

はじめに

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
日常点検について	5
電源の点検について / 自動診断機能について	
保守点検契約のおすすめ	6
操作説明図について	6

各部の名称とはたらき

外観図例	7
非常業務操作器	8
液晶表示部 / ポケットカバー内	
非常電源ユニット	11
マトリックスコントロールユニット	12
デジタルマトリックスユニット	12
モニターユニット	13
ミキサーユニット	13

非常操作をする

緊急の場合（非常放送のしかた）	14
非常放送の動作について	16
自動音声警報の種類と内容について	17

業務操作をする

業務放送をする	18
非常業務操作器からのマイク放送 / ミキサーユニットからの放送	
ブロック放送について	21
放送する場所を選ぶ（ブロック放送のしかた）	21
業務ブロック放送のしかた / BGM ブロック放送のしかた	
業務放送の優先関係について	23
多元放送について	24
多元放送時の操作について	

操作練習について

操作練習モードの仕様	25
操作練習モードの種類 / 操作練習モード中の動作 / 本体での操作練習モードの詳細	

その他

音量調節のしかた	29
時計合わせのしかた	30
ネームカードについて	31
ネームカードの記入 / ネームカードの取付	
緊急時、もし機器が動かなくなったら	32
保証とアフターサービスについて	32
仕様	33

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない。
誤動作や故障の原因になります。
 - ・ 許容動作温度（0℃～40℃）範囲外のところ。
 - ・ 許容動作湿度（30%～80%）範囲外のところ。
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ。
 - ・ トランシーバーや携帯電話など電波が発生する機器の近く。
 - ・ ほこりや砂の多いところ。
 - ・ 振動の激しいところ。
 - ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。
 - ・ 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ。
- 本システムの周囲に物を置かない
操作の妨げにならないように左右0.5m以内、操作面前方2m以内には物を置かないでください。

取り扱いについて

- 本システム用の電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らない
本システムは停電時にも非常放送ができるよう非常用蓄電池を内蔵し常に充電しています。
- 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤作動したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通気孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。
- 本システムの上に物を置かない
テレビモニターのような重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因になることがあります。
- 本システムの上に乗らない、ぶら下からない
倒れたり壊れたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。
- 本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

お手入れについて

- 本システム各機はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

輸送について

- 輸送するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードについて

- 電源コードは、本システムの各機器に付属の物を必ずお使いください。耐圧の異なるコードや、傷付いたコードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器に付属しているコードは、その機器以外で使わないでください。
- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。コードが傷付いて、火災、感電の原因となります。

点検・調整について

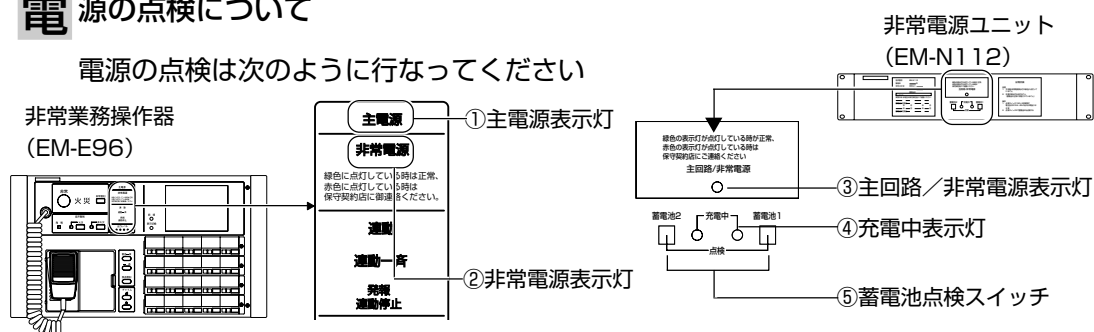
- 本システムの内部にさわらない
本システムの内部に触れることは、故障や感電の原因となります。点検や調整は設置業者にお任せください。
- 落雷による不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

日常点検について

非常時などの際、的確に機器が動作するように日常点検を行なってください。

電源の点検について

電源の点検は次のように行なってください



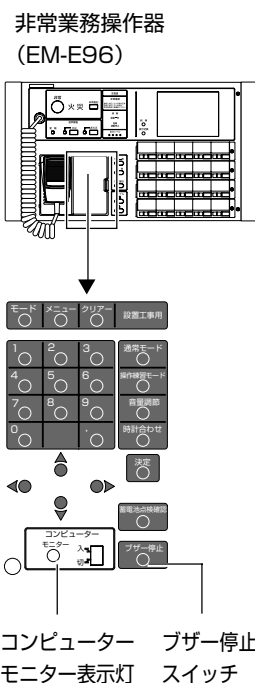
項 目	確 認 内 容	正 常	異 常
主電源の点検	非常業務操作器の①主電源表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
非常電源の点検	非常業務操作器の②非常電源表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯
主回路の点検	非常電源ユニットの③主回路／非常電源表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯
充電回路の点検	非常電源ユニットの④充電中表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
非常用蓄電池の点検	非常電源ユニットの⑤蓄電池点検スイッチを3秒～5秒間押しつづけ、主回路／非常電源表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯



- 異常のときはすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
- 手動操作による非常用蓄電池の点検では、自動診断機能とは違い、ブザー音や液晶画面への表示はありません。

自動診断機能について

非常業務操作器（EM-E96）はコンピューターによる自動診断機能を搭載し、機器の状態を監視しています。



自動診断機能の内容

項 目	内 容	異常発生時の表示場所とその内容
スピーカー回線の短絡の監視	放送中、スピーカー回線の短絡を監視します。	
通信回線の監視	常時、主入力制御ユニット等の接続機器の通信状況を監視します。	ブザー音（ピーツ、ピーツ）と液晶画面に異常を表示
非常用蓄電池の点検	24時間ごとに非常用蓄電池を放電させ電圧を点検します。	
パワーアンプの動作の監視	常時、パワーアンプの動作を監視します。	
コンピューターの動作の監視	常時、本機内蔵のコンピューターの動作を監視します。正常時は1秒ごとの点滅。	コンピューターモニター表示灯が点滅しない <コンピューター動作>異常



- 警告音を停止するにはブザー停止スイッチを押してください。
- 異常が発生した場合はすみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。

保守点検契約のおすすめ

非常用放送設備は消防法で定期点検が義務づけられています。

- ・ 非常用放送設備を設置した防火対象物の関係者は、当設備の定期点検を実施し、その結果を所轄消防長または、消防署長に報告しなければならない。
- ・ 点検者は、消防用放送設備を設置した防火対象物のうち政令で定めるものにあつては、消防設備士免状の公布を受けている者、または総務大臣が認める資格を有する者でなければならない。

消防法 第17条3の3要約

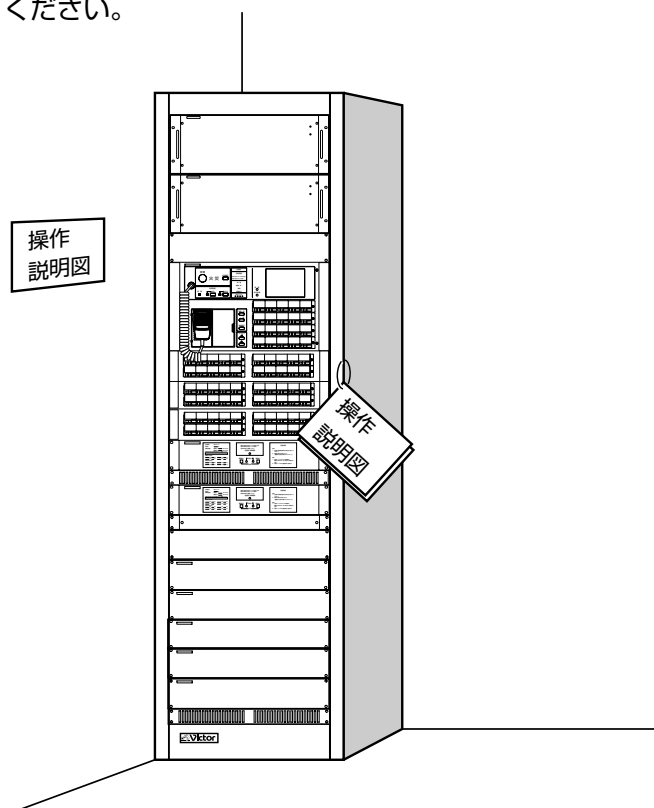
資格及び専門知識を必要とするため、外部に委託し点検報告を代行させることが「**保守点検制度**」です。



お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口の有資格者が保守点検を申し受けしますので、お問い合わせの上、保守点検契約を締結していただきますようお願いいたします。

操作説明図について

付属の「**操作説明図**」は非常時の際、確実な操作ができるように、本機の近くへ掲示してください。

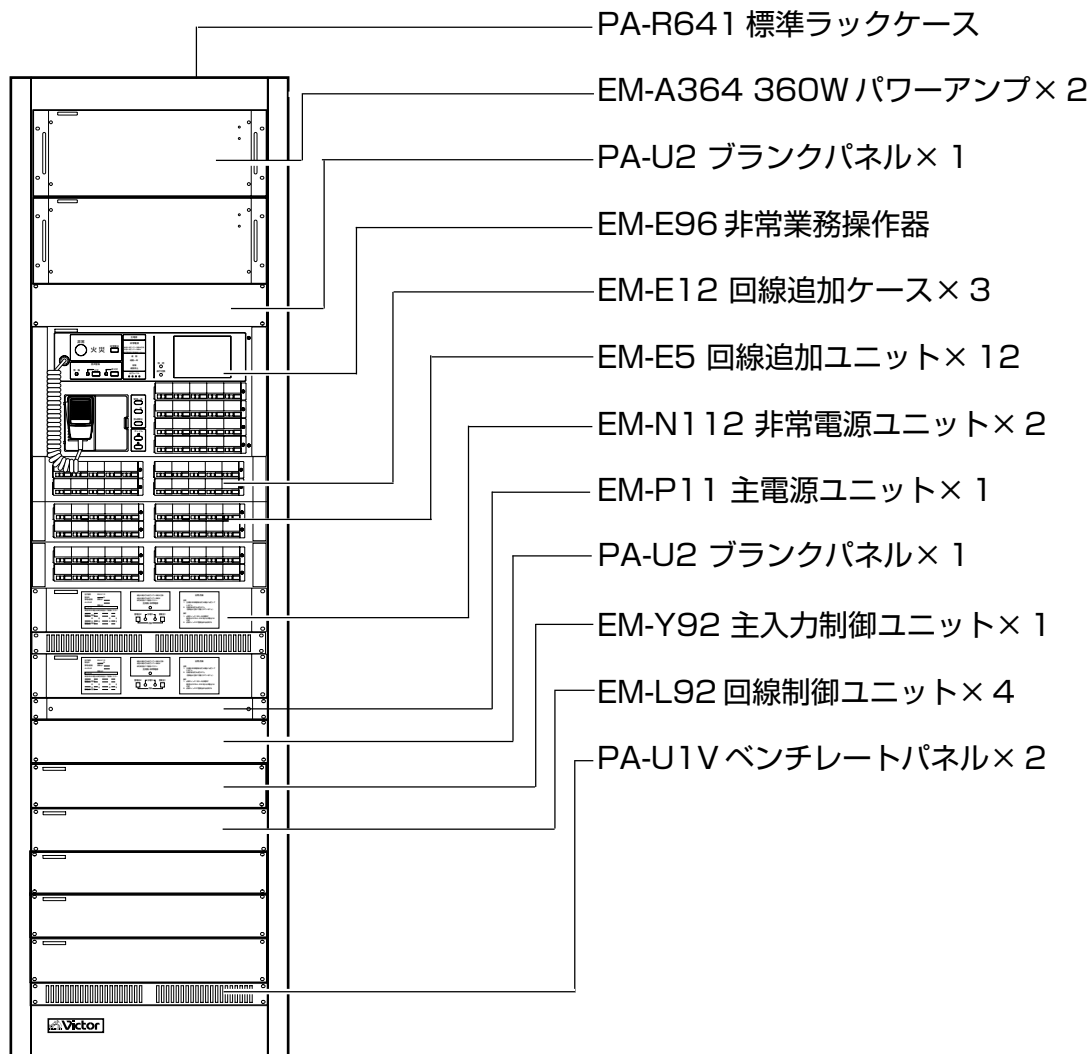


各部の名称とはたらき

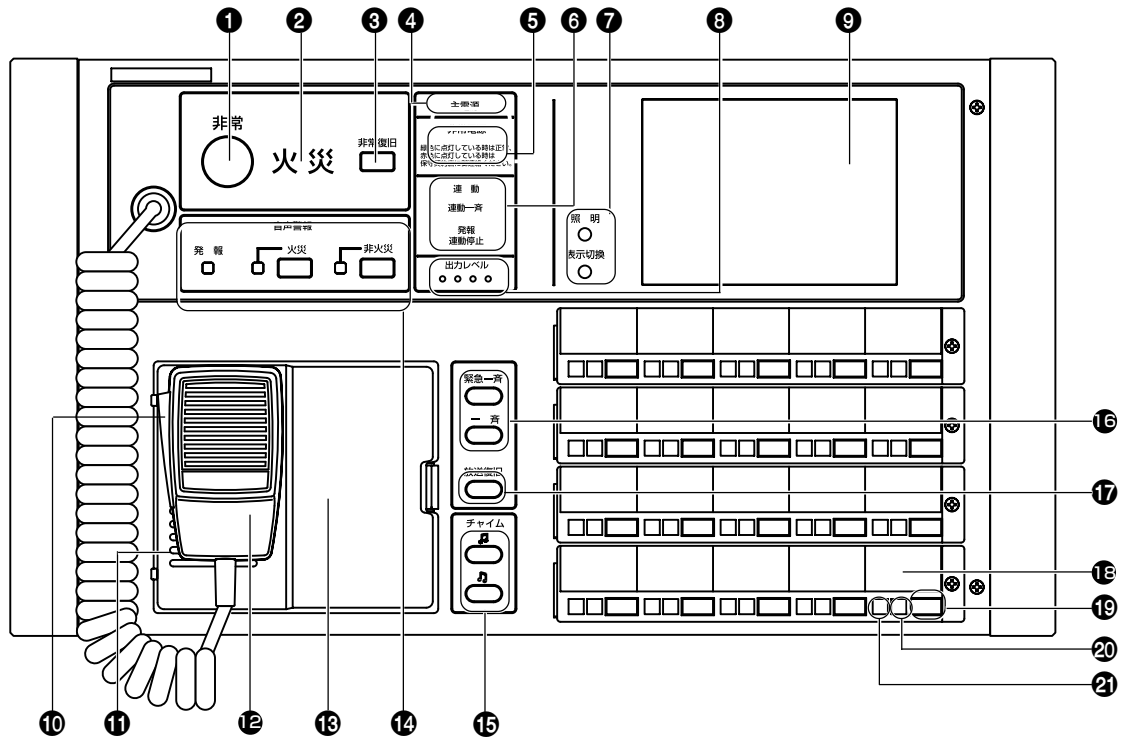
外観図例

EM-E900 シリーズ

720W 80 回線のと看



非常業務操作器(EM-E96)

**1 非常起動スイッチ**

手動で非常放送するときを押します。

15 ページ「非常放送を手動で行うとき」

2 火災灯

自動火災報知設備などから信号を受信したときと、手動で非常起動スイッチを押したときに点灯します。

3 非常復旧スイッチ

非常放送終了時に押します。

4 主電源表示灯

常用電源 (AC100V) で使用中点灯します。
(停電時消灯)

5 非常電源表示灯

非常電源電圧を表示します。
正常な状態では緑ランプが点灯し、異常な状態では赤ランプが点灯します。

6 連動表示灯

[自火報連動]表示灯

「連動」

自動火災報知設備からの信号によって、出火階と連動階へ非常放送を行なっている動作状態を示します。

「連動一斉」

自動火災報知設備からの信号によって、全回線へ非常放送を行なっている動作状態を示します。

[発報連動停止]表示灯

自動火災報知設備からの火災信号受信時の動作状態を示します。

7 液晶表示部スイッチ

[照明]スイッチ

液晶表示部のバックライトを点灯させるときに押します。

[表示切換]スイッチ

画面の表示内容を切り換えるときに押します。

8 放送出力レベル計

放送される音量を表示します。緑色2点が点灯する音量が適切なレベルになります。

9 液晶表示部

10 ページ「液晶表示部」

10 非常業務兼用マイクスイッチ

マイクを使用して放送するときを押します。

11 モニター用スピーカー

放送内容を確認 (モニター) します。

非常業務兼用マイクのスイッチを押すと、モニター音は停止しハウリングを防止します。

12 非常業務兼用マイク

⑩マイクスイッチを押しながら放送します。

13 ポケットカバー

音量を調節する場合や操作練習を行う場合にカバー内のスイッチを使用します。

11 ページ「ポケットカバー内」

14 音声警報部**[発報放送表示灯]**

発報放送中に点灯します。

発報放送中に **12** 非常業務兼用マイクで放送した後や、発報放送の自動音声終了後の火災音信号（ピーイ、ピーイ、…）が鳴動中のときは点滅します。

[火災放送表示灯]

火災放送中のときに点灯します。

火災放送中に **12** 非常業務兼用マイクで放送した後などは点滅します。

[火災放送スイッチ]

火災放送（火災時の自動音声）を行うときに押します。

[非火災放送表示灯]

非火災放送中のときに点灯します。非火災放送の自動音声終了後などは点滅します。

[非火災放送スイッチ]

非火災放送を行うときに押します。



火災が発生していないことを知らせる自動音声のことを非火災放送といいます。

15 チャイムスイッチ部**[アップチャイムスイッチ]**

このスイッチを押すと、ド→ミ→ソ→ドと音階が上がっていくチャイムが放送されます。放送を始めるときなどに利用します。

[ダウンチャイムスイッチ]

このスイッチを押すと、ド→ソ→ミ→ドと音階が下がっていくチャイムが放送されます。放送を終えるときなどに利用します。

16 放送スイッチ**[緊急一斉スイッチ]**

全館に放送するとき押します。室内の音量切り換えを「切」にしたエリアにも放送されます。

[一斉スイッチ]

非常放送時または業務放送時、全回線一斉に放送するときに押します。室内の音量切り換えを「切」にしたエリアには放送されません。ただし、非常放送時は緊急一斉スイッチを押したときと同じ動作になります。

29 ページ「音量調節のしかた」

17 放送復旧スイッチ

業務放送時に押すと放送終了になります。

非常放送時に押すと選択している回線がすべて復旧されます。（非常状態は保持されます。）

18 ネームカード

放送先名称を記入します。

放送階選択スイッチ用・・・白色

業務ブロックスイッチ用・・・緑色

BGM ブロックスイッチ用・・・黄色

19 出力スイッチ

放送先を選択するときに押します。

このスイッチは、設定によって、次のように機能が異なります。設定に関しては、お買い上げ販売店、保守点検業者にご相談ください。

a 放送階選択スイッチ

[白ネームカード](放送階選択表示)

業務放送時でも非常放送時でも使用できます。

b 業務ブロックスイッチ

[緑ネームカード](ブロック選択表示)

業務放送時に使用できます。

c BGM ブロックスイッチ

[黄ネームカード](ブロック選択表示)

BGM 放送するときに押します。

復旧するときはもう一度押します。

20 作動表示灯

自動火災報知設備からの起動や、**19** 出力スイッチの放送階選択スイッチ、**16** 一斉スイッチを押すことによって「緑色」に点灯し、その回線に放送することを表示します。

放送時にスピーカー回線が短絡すると、該当のスピーカー回線を制御する放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ、BGM ブロックスイッチの作動表示灯がすべて点滅します。また、液晶画面に「異常確認」の表示となり、スピーカー回線を自動的に切り離します。したがって、そのスピーカーからは放送が出力されませんのでご注意ください。

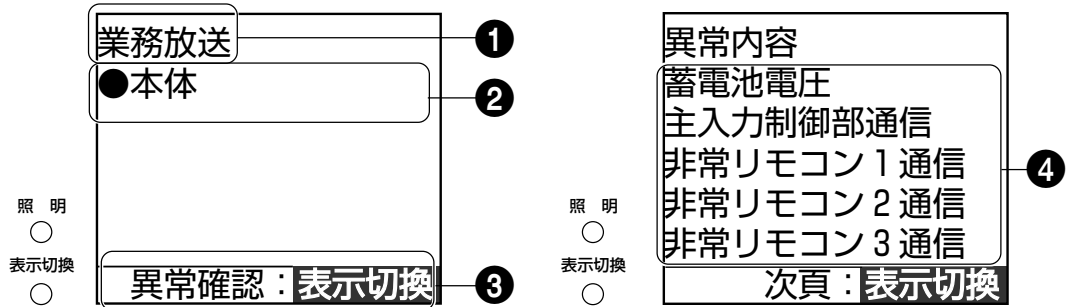
21 出火階表示灯

火災感知器や発信機などの発報場所を「赤色」の表示灯で示します。

非常業務操作器（EM-E96）（つづき）

液晶表示部

業務放送、非常放送時に本機で行われている動作を表示します。



1 放送表示

業務放送時は業務放送、非常放送時は非常放送と表示されます。

2 起動放送名表示

どこから放送指示がきているかを表示します。
「本体」

本体（非常業務放送装置）からの放送中に表示します。業務ブロックスイッチ[緑ネームカード]、放送階選択スイッチ[白ネームカード]によって起動する放送を意味します。

「非常リモコン」

非常業務遠隔操作器からの放送中に表示します。

「業務リモコン」

業務リモコンの放送中に表示します。

「報時チャイム」

報時チャイムの放送中に表示します。

「アナウンスユニット」

アナウンスユニットからの放送中に表示します。

「音声ファイル」

音声ファイルの放送中に表示します。

「電話ページング」

電話ページングの放送中に表示します。

「PC」

PCからの放送中に表示します。

「BGM」

BGM入力または、BGMブロックスイッチ[黄ネームカード]からの放送中に表示します。

「マルチ業務RM-1～8」

マルチ業務リモコンからの放送中に表示します。

3 表示切換表示

この表示が出たときに表示切換スイッチを押すと異常内容を詳しく確認できます。

4 異常内容発生表示

異常が発生するとブザー音（ピーツ、ピーツ）が鳴り、8ページ⑦表示切換スイッチを押すと上記のような画面を表示します。異常内容の項目が5個所を越えると画面下部に「次頁」と表示されますので、表示切換スイッチを押し、残りの異常内容を表示します。またブザー音を止めたい場合は11ページ⑥ブザー停止スイッチを押してください。表示を残したまま、音が止まります。

「蓄電池電圧」

非常用蓄電池の電圧に異常があるとき表示します。

「主入力制御部通信」

主入力制御部通信に異常があるとき表示します。

「非常リモコン*通信」(*はアドレスNo.です)

非常リモコン通信に異常があるとき表示します。

「マルチ業務RM*通信」(*はアドレスNo.です)

マルチ業務リモコン通信に異常があると表示します。

「音声合成部通信」

音声合成部通信に異常があるとき表示します。

「総合操作部通信」

総合操作部通信に異常があるとき表示します。

「Dマトリックス*通信」(*はアドレスNo.です)

デジタルマトリックス通信に異常があるとき表示します。

「音声合成データ」

音声合成データに異常があるとき表示します。

「パワーアンプ」

パワーアンプに異常があるとき表示します。

「本体メモリー」

本体のメモリーに異常があるとき表示します。

「短絡回線」

スピーカー回線短絡(ショート)時に9ページ②⑩作動表示灯の点滅とともに表示します。



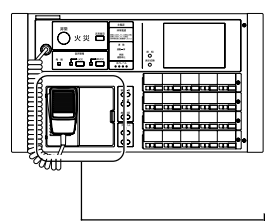
異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。



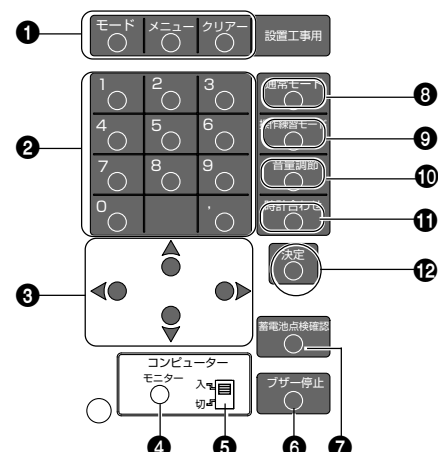
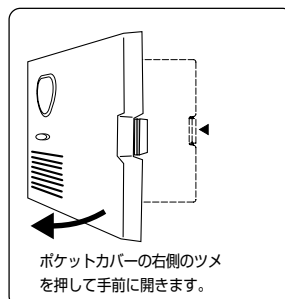
「業務リモコン」とは、リモートマイクロホンのことです。

ポケットカバー内

非常業務操作器
(EM-E96)



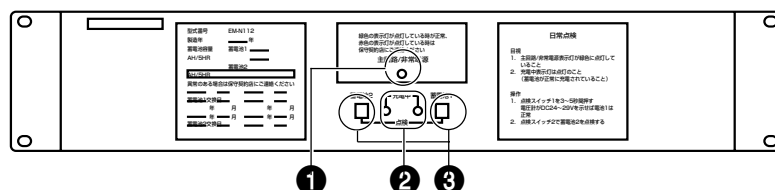
ポケットの開け方



- 1 設置工事用スイッチ**
プログラムの書き込み時のみ使用するスイッチです。操作はしないでください。
- 2 テンキー**
音量調整、時計合わせの設定など、数値を入力するときに使用します。
- 3 選択・変更スイッチ**
設定項目の選択、カーソルの移動などに使用します。
- 4 コンピューターモニター表示灯**
コンピューター動作が正常のとき点滅し、異常があると点滅しません。
【5 ページ「自動診断機能について」】
- 5 コンピュータースイッチ**
通常は「入」にしてください。
【32 ページ「緊急時、もし機器が動かなくなったら」】
- 6 ブザー停止スイッチ**
異常発生時のブザー音を停止させるときに押します。
- 7 蓄電池点検確認スイッチ**
最新の自動蓄電池点検の結果を表示するときに押します。
操作練習モードなどの通常モード以外のモードでは、蓄電池自動点検の結果がいったん無くなります。24 時間ごとの自動点検が実施されると最新の結果が表示されます。
- 8 通常モードスイッチ**
各種設定や操作練習を終えるときに押します。
- 9 操作練習モードスイッチ**
操作練習モードに入るときに押します。
【25 ページ「操作練習モードの仕様」】
- 10 音量調節スイッチ**
音量調節を行うときに押します。
【29 ページ「音量調節のしかた」】
- 11 時計合わせスイッチ**
時刻の設定を行うときに押します。
【30 ページ「時計合わせのしかた」】
- 12 決定スイッチ**
設定する内容を確定するときに押します。


非常電源ユニット(EM-N112)

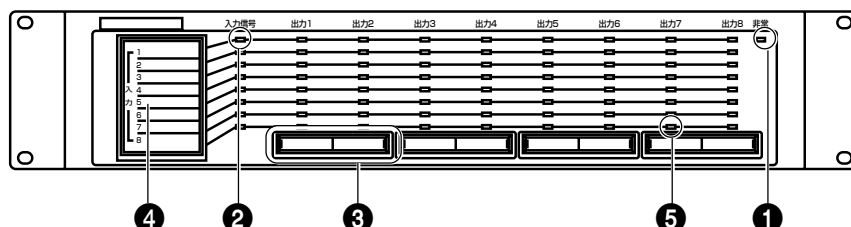
本システム用の電源ユニットです。



- 1 主回路／非常電源表示灯**
AC100V 時に AC 電源電圧の状態を表示し、停電時および蓄電池点検時に電池電圧の状態を表示します。
(正常時→緑色点灯、異常時→赤色点灯)
- 2 充電表示灯**
蓄電池に電源を充電しているとき点灯します。
- 3 蓄電池点検スイッチ**
このスイッチを押すと充電表示灯が消灯し、主回路／非常電源表示灯に蓄電池電圧が正常かどうかを表示します。
(正常時→緑色点灯、異常時→赤色点灯)


マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)

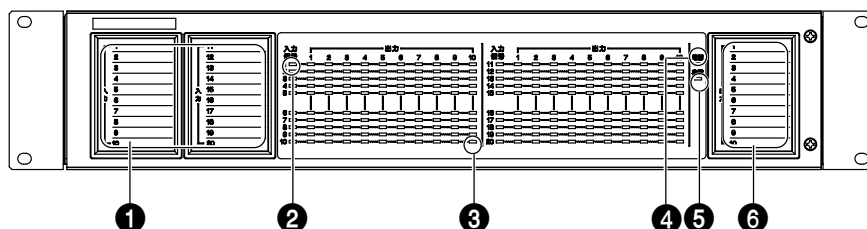
マトリックスコントロールユニットは、8系統の入力と8系統の出力を自由に組み合わせることができるユニットです。BGM機器、業務リモコンなどと組み合わせることで多元放送（ 24ページ）ができます。（最大4台使用で16入力16出力が可能です。）



- ① 非常放送表示灯（赤色）[非常放送]
非常放送時に点灯します。
- ② 入力信号表示灯（橙色）
入力1～入力8に信号が入力されると、それぞれの表示灯が点灯します。
- ③ 出力ライン記入シート[出力1～出力8]
各出力ラインの系統名を記入してください。
- ④ 入力ライン記入シート[入力1～入力8]
各入力ラインのソース（音源の名称）を記入してください。
- ⑤ クロスポイント表示灯（緑色）
入出力ラインのクロスポイント（64点）を表示します。クロスポイント ON（入出力ライン接続）時に点灯します。

デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)

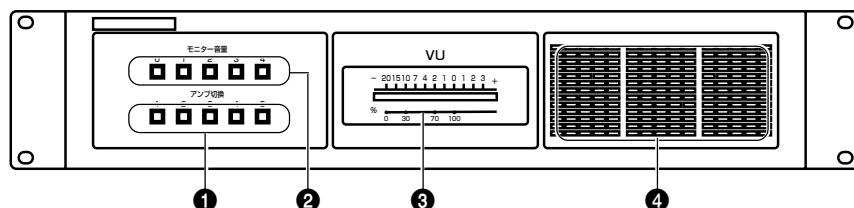
デジタルマトリックスユニットは、20の入力と10の出力を自由に組み合わせることができるユニットです。BGM機器、業務リモコンなどと組み合わせることで多元放送（ 24ページ）ができます。（最大2台使用で20入力20出力が可能です。）



- ① 入力ライン記入シート[入力1～入力20]
各入力ラインのソース（音源）を記入してください。
- ② 入力信号表示灯（橙色）
入力1～入力20に信号を入力したとき、それぞれの表示灯が点灯します。
- ③ クロスポイント表示灯（緑色）
入出力ラインのクロスポイント（200点）を表示します。クロスポイント ON（入出力ライン接続）時に点灯し、ミキシング時に点滅します。フェードイン・フェードアウト動作中は早く点滅します。
- ④ 電源表示灯（緑色）
正常動作中に点灯します。
初期化中や通信異常の発生時は点滅します。
- ⑤ 非常放送表示灯（赤色）[非常放送]
非常放送時に点灯します。
- ⑥ 出力ライン記入シート
[出力1～出力10、出力11～出力20]
各出力ラインの系統名を記入してください。

モニターユニット (EM-S102)

任意の放送エリアに流れる音声を確認することができます。



1 アンプ切換スイッチ

スイッチ1～スイッチ5のうち必要なスイッチを押してください。1～5の系統のパワーアンプを切り換えて放送中の音声を確認(モニター)できます。
(ボタン で「切」、ボタン で「入」)



接続時の設定によってはアンプ切換スイッチ1～5の中で聞こえない設定場所がありますので、この位置に設定することは避けてください。非常時に音声がかえなくなります。(この場合、非常時の自動音声は非常業務操作器 (EM-E96) では聞くことができます。)
2つ以上のスイッチを押したときは、数字の小さい方のスイッチが優先されます。

2 モニター音量スイッチ

モニタースピーカー音量を5段階に切り換えられます。(数字が大きくなると音量も大きくなります。)



非常放送のときはスイッチがどの位置にあっても、設定されている音量になります。設定を変更したい場合はお買い上げ販売業者、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。
2つ以上スイッチを押したときは数字の大きいほうの音量になります。「切」のとき音は出ません。

3 放送出力レベル計

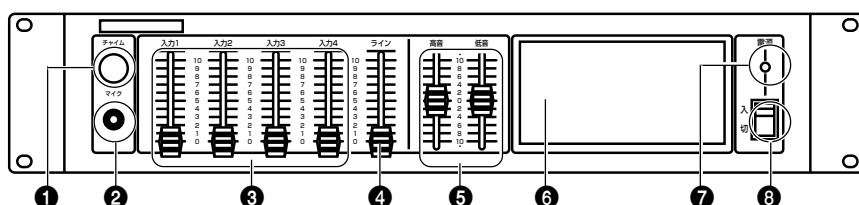
放送される音量を表示します。赤の表示灯が点灯しないように音量を設定してください。

4 モニタースピーカー

放送中の音声を出力します。

ミキサーユニット (EM-M102)

マイクや各種 BGM 機器などを使用する場合にお使いください。



1 チャイムスイッチ (4音式電子チャイム DM-2 取付時)

このスイッチを押すとアップチャイム(ド→ミ→ソ→ド)を放送できます。(非常業務操作器 (EM-E96) にもチャイムが内蔵されています。)

2 マイク入力ジャック

アナウンスマイクを接続すると、業務放送専用のマイクとなります。音量は内部で調整されています。

3 入力1～入力4 音量調節つまみ

各入力の音量を調整します。(使用しない音量調節つまみは最小にしておいてください。)

4 ライン音量調節つまみ

入力の音量を調整します。(使用しないときは音量調節つまみを最小にしておいてください。)

5 音質調節つまみ (低音、高音)

入力1～入力4とライン、ラジオの音質を調節します。(ラジオユニット組み込み時)

6 ラジオユニット組み込みスペース

ラジオチューナーユニット(別売: PA-F2-G)の組み込みスペースです。操作方法については、ユニットの取扱説明書をご覧ください。

7 電源表示灯

電源スイッチを「入」にすると点灯します。

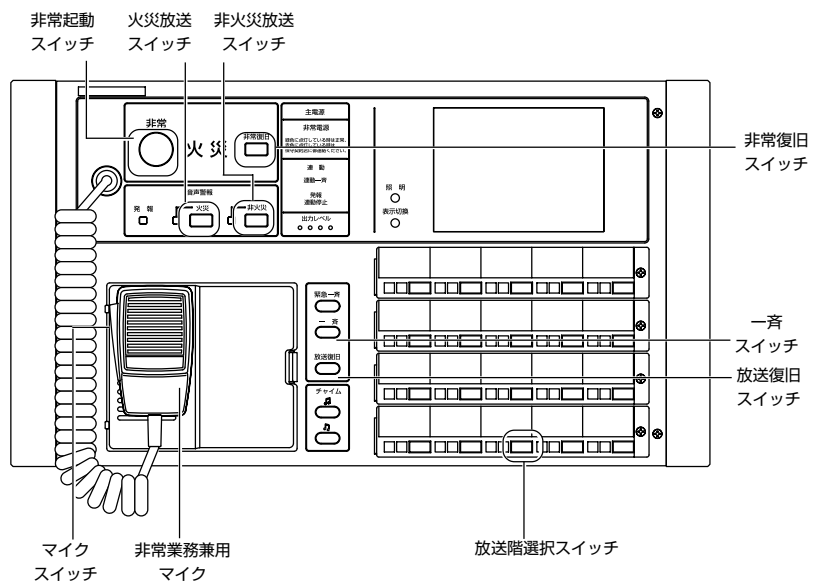
8 電源スイッチ

通常は「切」にしておいてください。「入」にしておくと放送復旧スイッチを押しても、パワーアンプとミキサーは電源が入ったままになります。

非常操作をする

緊急の場合（非常放送のしかた）

非常業務操作器
(EM-E96)



火災を確認する

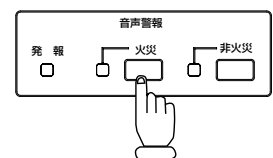
状況に応じて下記の **a** ～ **d** の動作を選んでください。

a 火災放送メッセージの放送を行うとき

火災放送スイッチを押します。

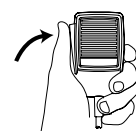
メッセージ内容

「火事です。火事です。〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」



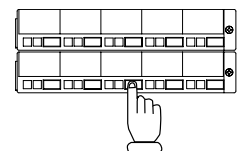
b 非常マイク放送を行うとき

非常業務兼用マイクを手にとり、マイクスイッチを押しながら、放送を行ないます。



c 放送場所の追加を行うとき

追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押します。

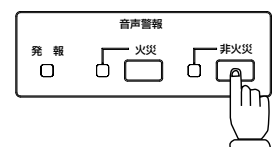


d 非火災放送メッセージの放送を行うとき

非火災放送スイッチを押します。

メッセージ内容

「先程の火災感知器の作動は、確認の結果異常がありませんでした。ご安心ください。」



非常放送の復旧時には、自動火災報知設備の非常状態を解除したあと、非常復旧ボタンを押します。



非常放送を手動で行うとき

1 火災を確認する

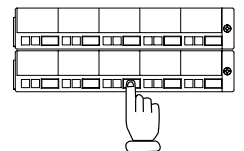
2 非常起動スイッチを押す



3 放送階選択スイッチを押す

出火階の放送階選択スイッチを押してください。

状況に応じて下記の**a**～**d**の動作を選んでください。

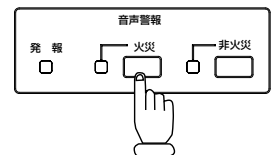


a 火災放送メッセージの放送を行うとき

火災放送スイッチを押します。

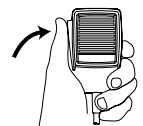
メッセージ内容

「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」



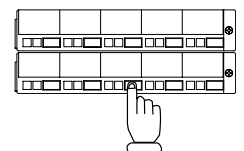
b 非常マイク放送を行うとき

非常業務兼用マイクを手にとり、マイクスイッチを押しながら、放送を行ないます。



c 放送場所の追加を行うとき

追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押します。

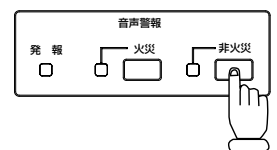


d 非火災放送メッセージの放送を行うとき

非火災放送スイッチを押します。

メッセージ内容

「先程の火災感知器の作動は、確認の結果異常がありませんでした。ご安心ください。」



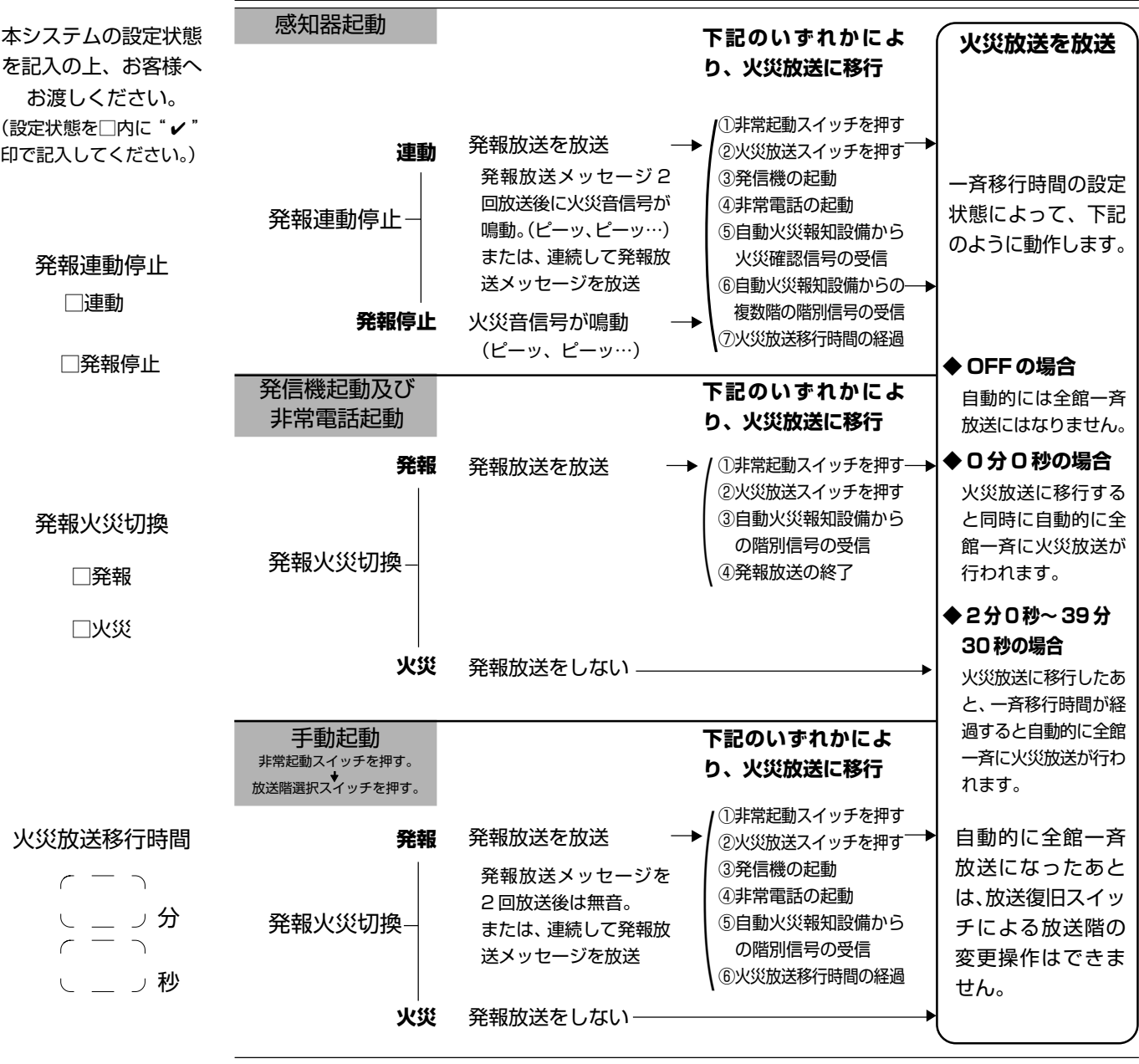
非常放送の復旧時には、自動火災報知設備の非常状態を解除したあと、非常復旧ボタンを押します。



非常放送の動作について

販売店様へ
本システムの設定状態を記入の上、お客様へお渡しください。
(設定状態を□内に“✓”印で記入してください。)

非常放送は次のとおり動作します。



火災放送移行時間

()

()

()

()

分

()

()

()

()

秒

一斉移行時間

□OFF

()

()

()

分

()

()

()

()

秒

火災ではないことを確認した場合は、非火災放送スイッチを押してください。
非火災放送に移行し、非火災放送メッセージを2回放送します。



発報連動停止、発報火災切換、火災放送移行時間、一斉移行時間の設定はあらかじめお買い上げ販売店にて行なっています。
設定内容についてのお問い合わせや変更等については、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

自動音声警報の種類と内容について

非常時、館内の人々へ向け確実に注意を促すため、以下の警報メッセージを自動的に放送します。（次のメッセージは1階の火災感知器が作動したときの例です。）

a 発報放送のとき

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「ただいま1階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女性の声）

b 火災放送のとき

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「火事です、火事です。1階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男性の声）＋スweep音（フィッ、フィッ、フィッ）

c 非火災放送のとき

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」（女性の声）



自動火災報知設備から階別信号の受信がない場合は、出火階情報のない自動放送となります。

メッセージの変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。

非常放送の操作ガイドについて

非常放送時は非常業務操作器（EM-E96）の液晶表示部に操作ガイドが表示され、適切な操作の手助けになります。また非常業務操作器のモニター用スピーカーから音声による操作ガイドが出ます。音声操作ガイドは設定により「あり」「なし」が選択できます。

設定についてはお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。

業務操作をする

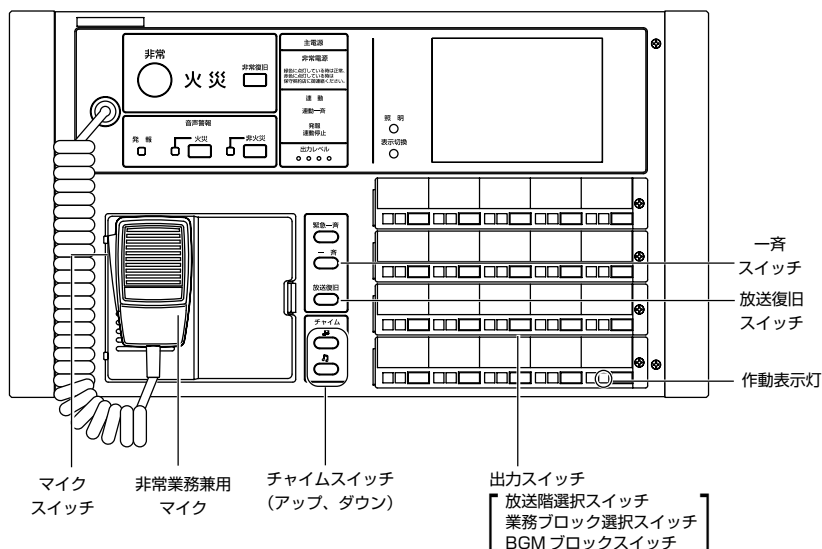
業務放送をする

業務放送とは、非常放送以外の一般放送のことです。本システムでは、非常業務操作器、非常業務遠隔操作器、業務リモコン、ミキサーユニット、BGM演奏機器、マルチ業務リモコンなどから業務放送ができます。

非常業務操作器 (EM-E96) からのマイク放送

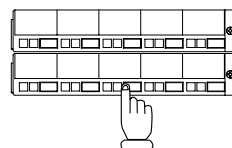
非常業務操作器と非常業務遠隔操作器からは、同じ操作で業務放送ができます。

非常業務操作器
(EM-E96)



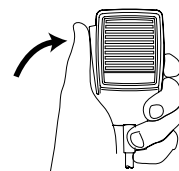
1 放送したい場所を選ぶ

放送する場所の出力スイッチ (放送階選択スイッチ、業務ブロック選択スイッチ)、または一斉スイッチを押します。



2 放送をする

非常業務兼用マイクのマイクスイッチを押し、放送を行ないます。
放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。



3 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

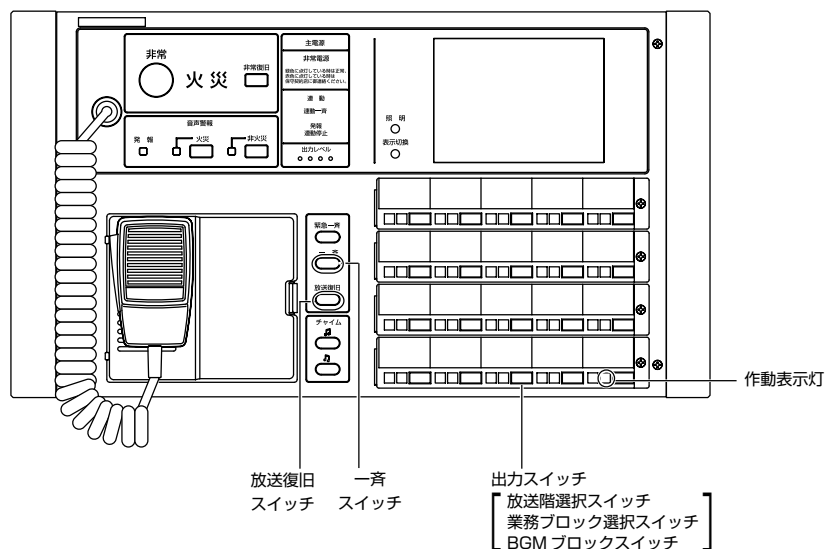


出力スイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。

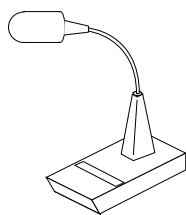
ミキサーユニット (EM-M102) からの放送

(マイクロホン、CD プレーヤー、カセットデッキ、ラジオ)
これ以外の音響機器を使用の場合も同じ手順で操作してください。

非常業務操作器 (EM-E96)



マイクロホンで放送するとき



1 放送したい場所を選ぶ

放送したい場所の出力スイッチ (放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ)、または一斉スイッチを押してください。

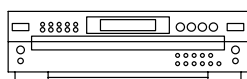
2 放送を行う

マイクと口との距離を適正に保って放送します。

3 放送を終了する

放送復旧スイッチを押します。

CD プレーヤーで放送するとき



CD オートマチック
チェンジャー

1 放送したい場所を選ぶ

放送したい場所の出力スイッチ (放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ)、または一斉スイッチを押してください。

2 CDプレーヤーを演奏させる

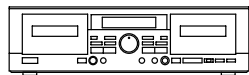
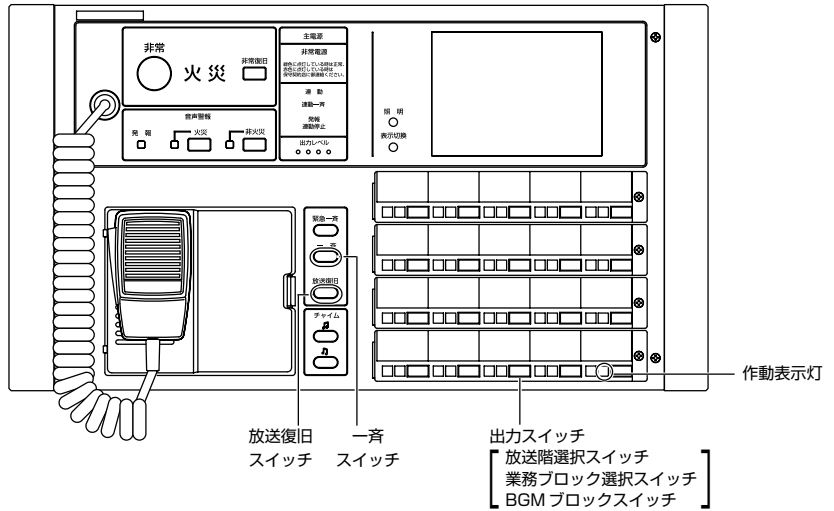
操作方法については、CD プレーヤーの取扱説明書をお読みください。

3 音量を調節する

ミキサーユニットの音量を調節します。

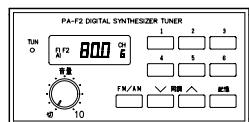
4 放送を終了する

放送復旧スイッチを押します。



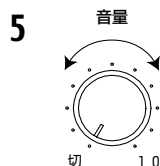
ステレオダブル
カセットデッキ

- 1 放送したい場所を選ぶ**
放送したい場所の出力スイッチ（放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ）、または一斉スイッチを押してください。
- 2 カセットデッキを演奏させる**
操作方法については、カセットデッキの取扱説明書をお読みください。
- 3 音量を調節する**
ミキサーユニットの音量を調節します。
- 4 放送を終了する**
放送復旧スイッチを押します。



ラジオチューナーユニット
PA-F2-G (別売)

- 1 放送したい場所を選ぶ**
放送したい場所の出力スイッチ（放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ）、または一斉スイッチを押してください。
- 2 電源を入れる**
音量つまみを「切」の位置から時計方向に回します。
- 3 「FM」または「AM」を選択する**
「FM/AM スイッチ」を 1 回押すごとに、次のように切り換わります。
FM1 → FM2 → AM → FM1 …（繰り返し）
- 4 放送局を選ぶ。**
希望の放送局（周波数）に合わせるか、選局ボタンを押します。
- 5 音量を調節する**
音量つまみで音量を調節します。
- 6 放送を終了する**
放送復旧スイッチを押します。



ブロック放送について

本システムは非常業務操作器（または非常業務遠隔操作器）からの業務ブロック放送をはじめ、業務リモコン、BGM、電話ページングなど、機能別／用途別に任意のスピーカー回線をグループにまとめて放送できる「ブロック放送機能」を持っています。この機能を使用するためにはプログラムの書き込みを行う必要があります。



書き込みは設置時に行なわれていますので、内容の変更がある場合は、お買い上げ販売店や保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

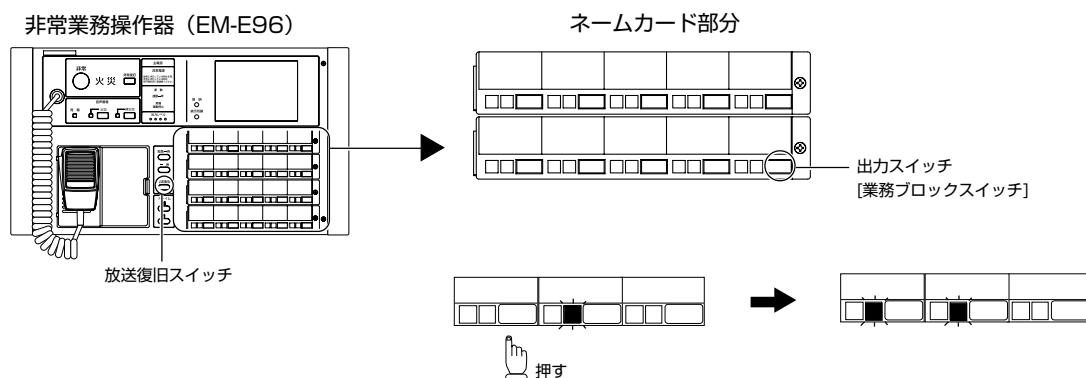
放送する場所を選ぶ（ブロック放送のしかた）

業務ブロック放送のしかた

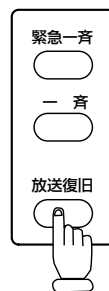
状況に応じて、必要な業務ブロックスイッチ[緑ネームカード]を押してください。
非常業務遠隔操作器（EM-C96）も本体と同じグループが設定されます。

例）2つ以上の業務ブロックへ同時に放送したいとき

必要な業務ブロックスイッチ[緑ネームカード]を押してください。



● 終わるときは「放送復旧スイッチ」を押してください。

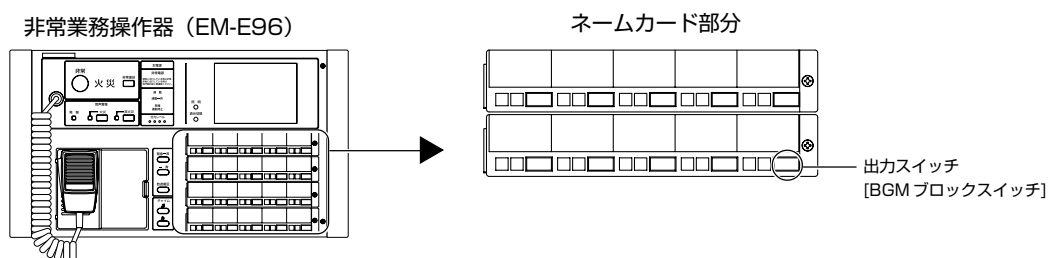


業務ブロック放送はスイッチごとに緊急放送の指定ができます。この場合はスピーカーのアッテネーターがどの位置にあっても最大音量で放送できます。

緊急放送に指定された業務ブロックスイッチを押した場合は、同時に押した他のスイッチが緊急指定をしていないスイッチでもその場所も緊急放送になる場合があります。

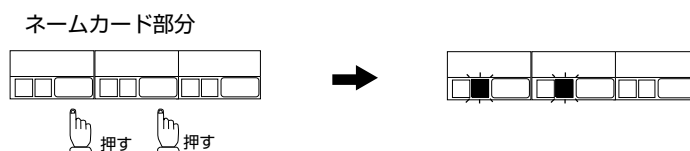
放送する場所を選ぶ（ブロック放送のしかた）（つづき）

B GMのブロック放送のしかた



1 ブロック放送を行う

必要なBGMブロックスイッチ[黄ネームカード]を押します。BGMブロック放送は、他の放送が行われていると放送されません。
(23 ページ「業務放送の優先関係について」)



2 BGM機器を演奏させる

3 ブロック放送を終了する

終わるときは、BGMブロックスイッチ[黄ネームカード]を再度押してください。放送復旧スイッチでは放送解除できません。
BGM 機器の電源は使用しないときは、OFF にしてください。

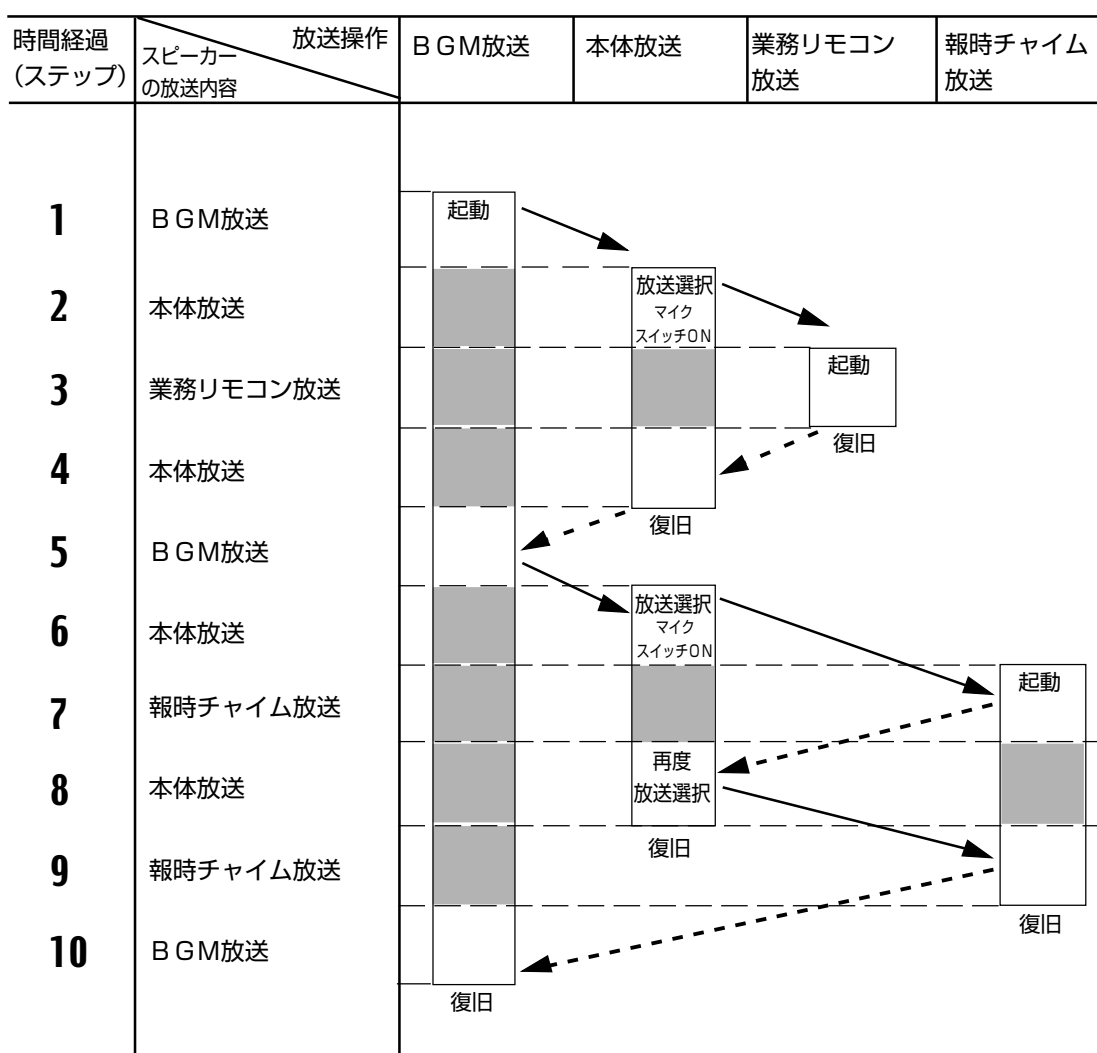



業務放送の優先関係について

出荷状態時の業務放送は 17 の放送グループに分かれており、つねに後で押したスイッチが優先します。ただし、BGM放送だけは他の放送グループよりも優先順位が低くなっています。なお、非常放送は業務放送に対して優先的に放送されます。

放送グループ一覧

本体 (EM-E96) 放送／非常リモコン (EM-C96) 放送／業務リモコン (PA-C50) 放送／電話ページング放送／報時チャイム放送／BGM放送／アナウンスユニット放送／音声ファイル放送／PC 放送／マルチ業務リモコン (PA-C620) 1～8 放送



※  は他の放送の割り込みによる放送中断を表します。割り込んだ放送が復旧すると前に行われていた放送に戻ります。



優先関係の設定状態は変更可能です。上位の放送中は下位の放送の割り込みはできません。
システム設定の内容やマトリクスユニットの有無により、必ずしも上記のように動作しない場合があります。
優先関係の設定変更はお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

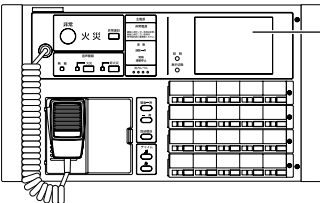
多元放送について

複合ビルなどで、ブロックごとに同時に異なる放送（呼び出し、BGM など）を行うことがあります。このようにブロックごとに同時に別々の放送を行うことを多元放送といいます。この放送を実現するためにマトリックスコントロールユニット（PA-MX52）やデジタルマトリックスユニット（PA-MX92）を使用します。

多元放送時の操作について

- ◆多元放送を行う前には、液晶表示で現在行なわれている放送内容を確認してください。
非常業務操作器、非常業務遠隔操作器の作動表示灯が点灯していない場合でも、他の放送機器で呼び出し放送や案内放送が行なわれている場合があります。液晶表示部の照明スイッチを押し、確認してください。

非常業務操作器
(EM-E96)



業務放送 1 6 : 2 7

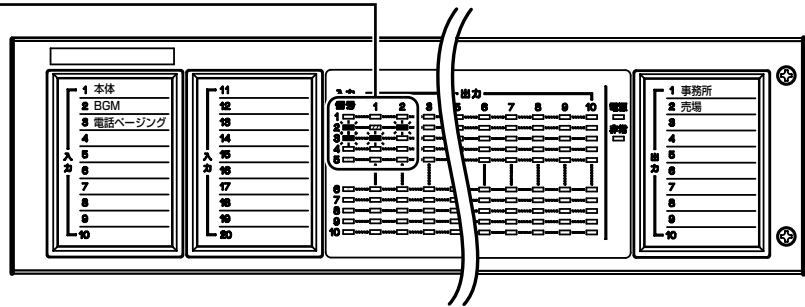
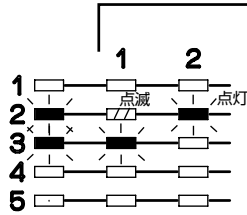
●非常リモコン

●BGM

例) 現在、非常リモコン放送とBGM放送を同時に行なっています。

- ◆現在放送中の放送内容は、デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）、マトリックスコントロールユニット（PA-MX52）のクロスポイント表示灯の点灯により現在放送中の放送機器と放送先が詳しく確認できます。

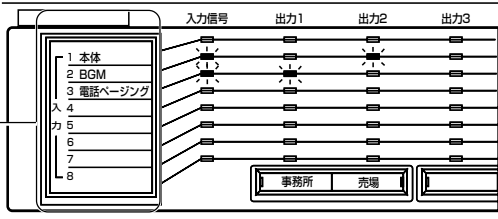
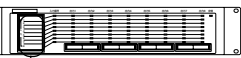
デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）の場合



例) 現在、事務所に電話ページングとBGMのミキシング放送を、売場にBGM放送を行なっています。

マトリックスコントロールユニット（PA-MX52）の場合

マトリックスコントロールユニット
(PA-MX52)



例) 現在、事務所に電話ページングを、売場にBGM放送を行なっています。



システムの設定によっては、BGM 放送などを行なっているとき一時的に放送が切れ、無音となる場合があります。放送が切れないようにしたい場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

操作練習について

操作練習モードを使って非常放送の操作を練習する場合は、必ず防火管理者または保守点検業者または設置業者の立会いのもとで、館内の様子に十分配慮して操作練習を行なってください。

実際に火災が発生した場合(火災感知器や発信機が作動した場合など)には、すぐに通常モードスイッチを押して通常モードにした後、非常放送操作を行なってください。

操作練習モード中は次の動作になります。

- ・放送をしません(スピーカー回線に出力しません)。
- ・館内の業務放送アンプの音を遮断しません(RB 信号を出力しません)。
- ・自働火災報知設備からの信号を受け付けません(自動火災報知設備との連動動作を停止しています)。

操作練習モードの仕様

- 非常放送の操作を練習するときに使用します。事前に操作練習をしておくことにより、火災が発生したときに落ち着いて的確な避難誘導放送をすることが可能となります。
- 操作練習中の音声は館内には放送されません。また放送中は操作練習モードに入れません。
- P26～P28の操作練習の各手順 2 において、決定スイッチを押さずに非常起動スイッチを押すと、館内に非常放送が流れますのでご注意ください。
- P26～P28の操作練習の手順説明において示されている画面は設定内容により表示が変わります。

操作練習モードの種類

非常状態に応じて、**a～c**の3つの操作練習があります。

a

手動起動

非常起動スイッチによる操作練習ができます。

b

感知器起動

感知器起動時の操作練習ができます。

c

発信機起動

発信機起動時の操作練習ができます。

操作練習モード中の動作

本体(EM-E96)で操作練習モードに入ったあとは、本体および非常業務遠隔操作器(EM-C96)で操作練習ができます。同様に、非常業務遠隔操作器で操作練習モード(手動起動のみ)に入ったあとは、本体または非常業務遠隔操作器でも操作練習ができます。また通常モードスイッチの使用により、操作練習モードから通常モードへ移行します。非常復旧スイッチを押しても通常モードへ移行します。操作練習モード中も、マルチ業務リモコン(PA-C620)、デジタルマトリックスユニット(PA-MX92)およびPCリモート放送の非常放送表示は通常モードと同様に動作します。



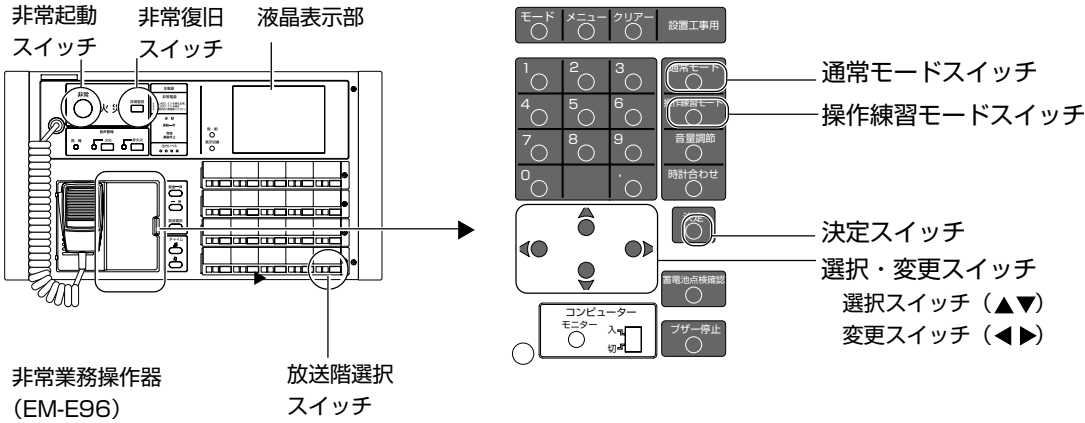
操作練習モードから通常モードへ戻るときに、約5秒かかります。

また、液晶画面や表示灯が一旦消えたりします。これは、システムリセット動作を行なうためであり、異常ではありません。

操作練習モードの仕様（つづき）

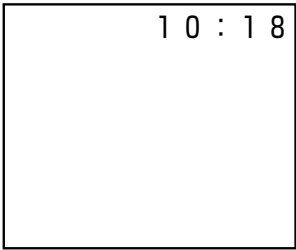
本体での操作練習モードの詳細

a 手動起動時の操作練習



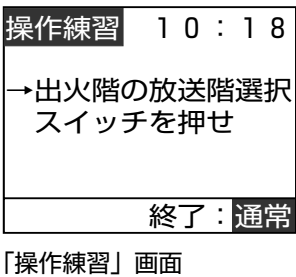
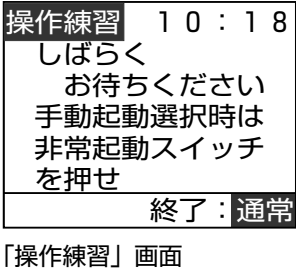
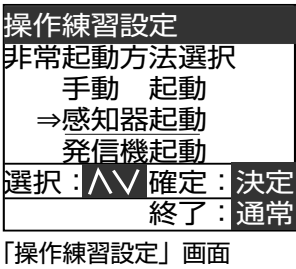
メモ

操作練習中は操作練習モード中であることを液晶画面に表示します。バックライトも操作練習モード中は点灯し続けます。



1 操作練習モードを選択する

放送が行われていない状態で操作練習モードスイッチを押し、「操作練習設定」画面を表示します。この画面の表示中はまだ操作練習モードに移行してません。館内に放送が流れないようにご注意ください。



2 手動起動を選択する

選択スイッチで「手動起動」を選択し、決定スイッチを押します。

決定スイッチを押すことで、操作練習モードに入ります。

決定スイッチを押す前に非常起動スイッチを押すと館内に非常放送が流れます。ご注意ください。

3 非常起動の準備をする

「手動起動選択時は非常起動スイッチを押せ」というメッセージ画面が表示されたら非常起動スイッチを押します。

4 放送階を選択する

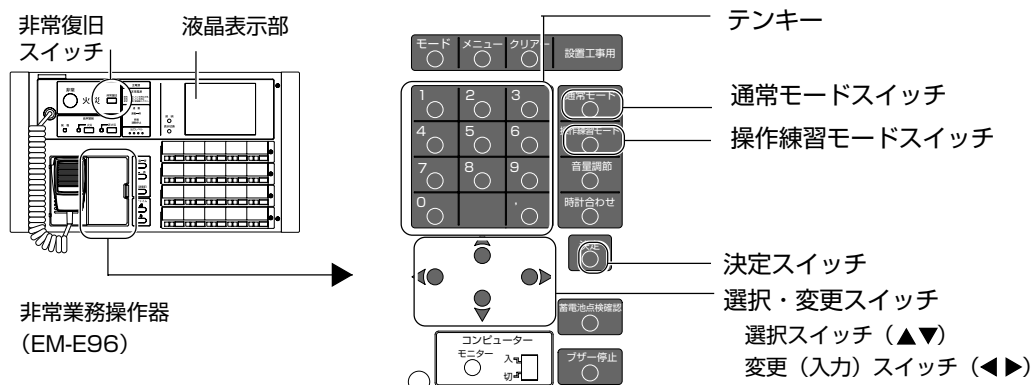
「出火階の放送階選択スイッチを押せ」というメッセージ画面が表示されたら放送階選択スイッチを押します。

以後画面の指示に従って操作を続けます。

5 操作を終了する

通常モードスイッチを押し、通常モードに戻ります。非常復旧スイッチを押すことでも通常モードに戻ります。

b 感知器起動時の操作練習



操作練習設定	
非常起動方法選択	
手動 起動	
→感知器起動	
発信機起動	
選択：▲▼	決定：決定
終了：通常	

「操作練習設定」画面

操作練習設定	
感知器起動	
階別信号 No.	1 1 8
入力：◀▶	開始：決定
戻る：通常	

「操作練習設定」画面

操作練習	1 6 : 2 7
しばらくお待ちください	
手動起動選択時は非常起動スイッチを押せ	
終了：通常	

「操作練習」画面

操作練習	1 6 : 2 7
発報放送	
火災感知器が作動した	
→火災を確認せよ	
終了：通常	

「操作練習」画面

操作練習	1 6 : 2 7
火災のとき	
→火災スイッチを押せ	
非火災のとき	
→非火災スイッチを押せ	
終了：通常	

「操作練習」画面



右図は階別信号 No を「118」と入力したときの例です。



火災スイッチ、または非火災スイッチを押さずにいると **a**、**b** の画面が交互に表示されます。

1 操作練習モードを選択する

放送が行われていない状態で操作練習モードスイッチを押し、「操作練習設定」画面を表示します。この画面の表示中はまだ操作練習モードに移行してません。館内に放送が流れないようにご注意ください。

2 感知器起動を選択する

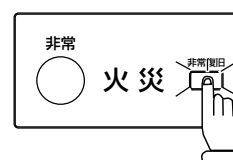
選択スイッチで「感知器起動」を選択し、決定スイッチを押します。

3 操作を開始する

テンキーおよび入力スイッチで階別信号 No を入力し、決定スイッチを押します。液晶表示部の指示に従って非常放送の練習をします。

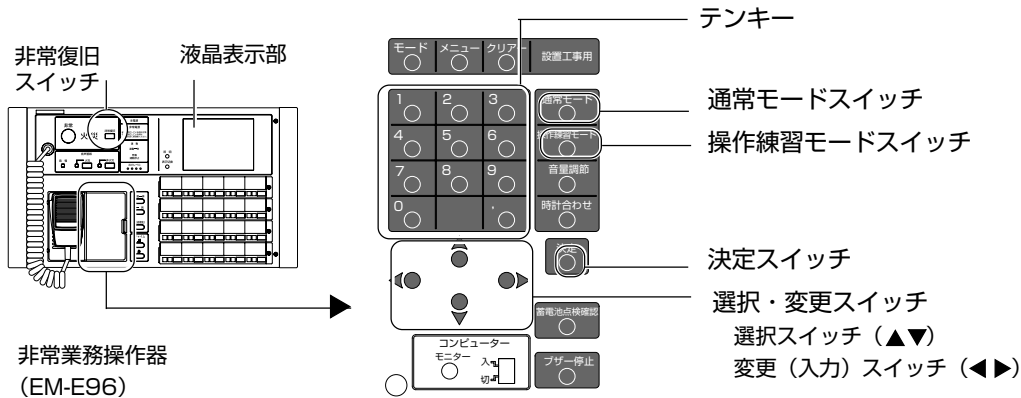
4 操作を終了する

通常モードスイッチを押し、通常モードに戻ります。非常復旧スイッチを押すことでも通常モードに戻ります。



操作練習モードの仕様（つづき）

c 発信機起動時の操作練習



操作練習設定	
非常起動方法選択	
手動 起動	
感知器起動	
⇒発信機起動	
選択：▲▼	確定：決定
終了：通常	

「操作練習設定」画面

操作練習設定	
発信機起動	
階別信号 No.	1 1 8
入力：<>	開始：決定
戻る：通常	

「操作練習設定」画面

操作練習	1 6 : 2 7
しばらくお待ちください	
手動起動選択時は非常起動スイッチを押せ	
終了：通常	

「操作練習」画面

操作練習	1 6 : 2 7
避難誘導放送	
→マイクを使って放送せよ	
終了：通常	

「操作練習」画面

操作練習	1 6 : 2 7
放送階の追加	
→追加する放送階選択スイッチを押せ	
終了：通常	

「操作練習」画面

1 操作練習モードを選択する

放送が行われていない状態で操作練習モードスイッチを押し、「操作練習設定」画面を表示します。この画面の表示中はまだ操作練習モードに移行してません。館内に放送が流れないようにご注意ください。

2 発信機起動を選択する

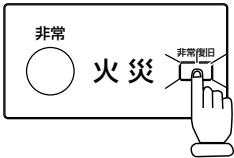
選択スイッチで「発信機起動」を選択し、決定スイッチを押します。

3 操作を開始する

テンキーおよび入力スイッチで階別信号 No を入力し、決定スイッチを押します。液晶表示部の指示に従って非常放送の練習をします。

4 操作を終了する

通常モードスイッチを押し、通常モードに戻ります。非常復旧スイッチを押すことでも通常モードに戻ります。



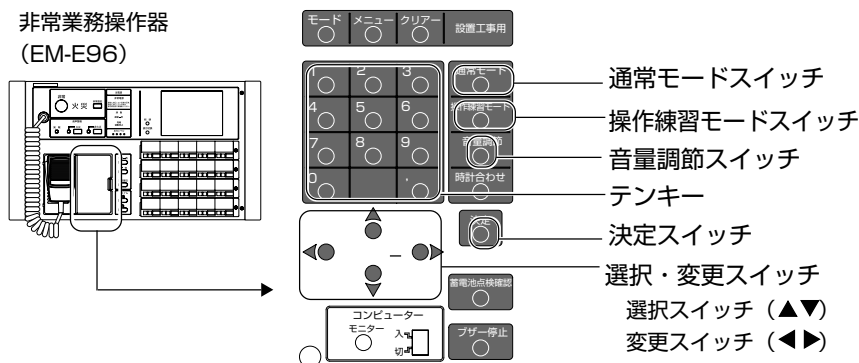
右図は階別信号 No を「118」と入力したときの例です。

a、bの画面が交互に表示されます。

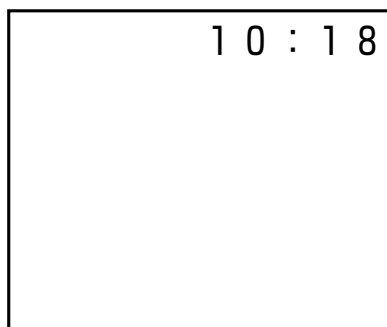
音量調節のしかた

非常業務操作器（EM-E96）の「非常モニター」、「業務モニター」、「ミキサー」、「BGM」、「PC」の各音量の設定をします。

非常業務操作器
(EM-E96)



時計合わせで表示設定を「時刻」に設定した場合、時刻が表示されます。



選択スイッチで設定が必要な箇所に合わせ設定を行ってください。選択できる数値の範囲は「0～20」です。

音量調節	
非常モニター	1 5
業務モニター	1 5
ミキサー	1 5
BGM	1 5
PC	1 5
選択：▲▼ 確定：決定	

「音量調節」画面

1 音量調節画面を表示する

音量調節スイッチを押し、「音量調節」画面を表示します。

2 各項目を設定する

●非常モニターを選択する

非常放送時のモニター音量を調節します。選択スイッチで「非常モニター」を選択し、変更スイッチおよびテンキーで数値を選びます。

業務放送時でも非常放送時のモニター音量（非常モニター）が調節できます。「非常モニター」を選択し変更スイッチを押すと、モニターの音量は「非常モニター」の音量になります。決定スイッチを押すと、モニターの音量は「業務モニター」の音量になります。

●業務モニターを選択する

業務放送時のモニター音量を調節します。選択スイッチで「業務モニター」を選択し、変更スイッチおよびテンキーで数値を選びます。

●ミキサーを選択する

ミキサーユニットからの音量を調節します。選択スイッチで「ミキサー」を選択し、変更スイッチおよびテンキーで数値を選びます。

●BGMを選択する

BGM機器の音量を調節します。選択スイッチで「BGM」を選択し、変更スイッチおよびテンキーで数値を選びます。

●PCを選択する

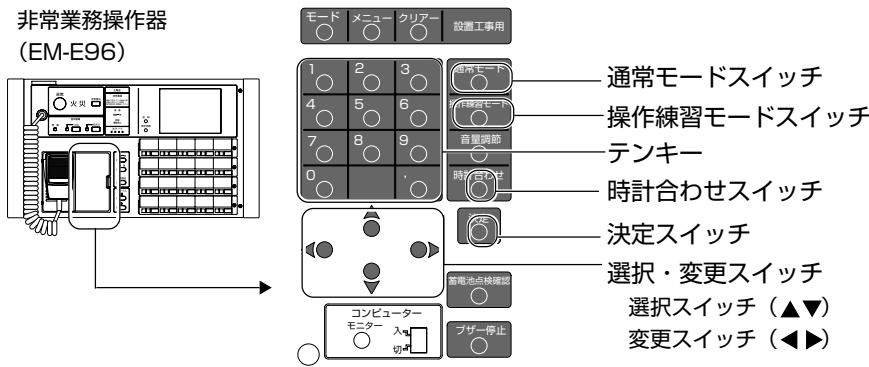
PC放送機器の音量を調節します。選択スイッチで「PC」を選択し、変更スイッチおよびテンキーで数値を選びます。

3 設定を終了する

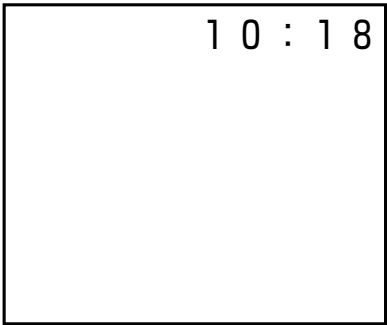
決定スイッチを押すと変更内容を有効にして終了します。通常モードスイッチを押すと変更内容を無効にして終了します。

時計合わせのしかた

非常業務操作器（EM-E96）に内蔵されている時計を設定します。本機の時計は機器のメンテナンス用に使用します。あらかじめ、時計が表示されていない場合は、そのまま表示しないことをお勧めします。時計を表示している場合で、時計の誤差が気になるときのみ、このページのように時計合わせをしてください。時計を表示している場合で、時計精度を高めたいときは、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。



時計合わせで表示設定を「時刻」に設定した場合、時刻が表示されます。非常業務遠隔操作器（EM-C96）にも時刻が表示されます。



1 時計合わせ画面を表示する

時計合わせスイッチを押し、「時計合わせ」画面を表示します。

2 年月日時を設定する

選択スイッチを押すと下記の順番で設定の切り換えができます。

年→月→日→時→分→表示

「表示」選択肢：「時刻」
「日付」
「なし」

「年」「月」「日」「時」「分」は変更スイッチおよびテンキーで数値を入力し、「表示」は選択スイッチで項目を選択します。あらかじめ時計が表示されていない場合は、そのまま表示しないことをお勧めします。
変更内容を保存したいときは決定スイッチを押し、内容を確定します。このとき秒は「0」より始まります。
途中で設定の変更を中止したいときは通常モードスイッチを押します。このとき秒は変更されません。

「日付」を2003年以前に設定した場合、2004年に自動修正されます。

時計合わせ			
日付	20	04	年
	1月	1日	
時刻	0時	0分	
表示			時刻
選択	▲▼	変更	◀▶
終了	通常	確定	決定

「時計合わせ」画面

ネームカードについて

付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切り離してご使用ください。

ネームカードの記入

ネームカードは「白」、「緑」、「黄」3色のカードをお使いください。



白

a

放送階選択スイッチ（業務、非常）用

非常放送、業務放送兼用のスイッチとして使います。



緑

b

業務ブロックスイッチ用

業務放送専用スイッチとして使います。



黄

c

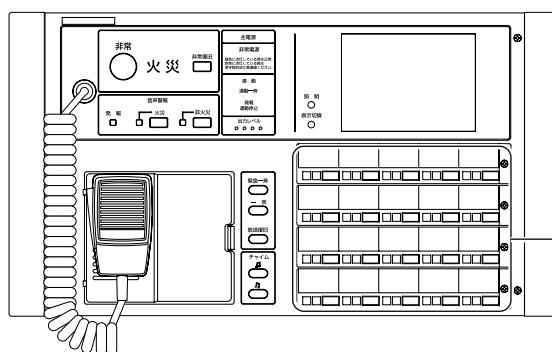
BGM ブロックスイッチ用

業務放送専用 BGM スイッチとして使います。

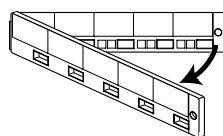
ネームカードの取り付け

記入を終えたネームカードは下記の手順に従ってアクリルカバーの凹部へはめた後、ネジで固定します。

非常業務操作器
(EM-E96)



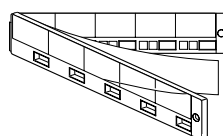
アクリルカバー



1

アクリルカバーをはずす

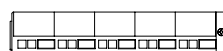
アクリルカバーを止めているネジをはずします。



2

ネームカードを差し込む

記入を終えたネームカードをアクリルカバーの内側にはめ込みます。



3

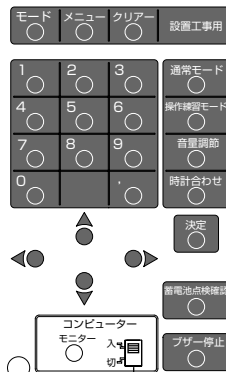
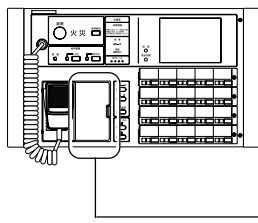
アクリルカバーを固定する

ネームプレートがずれないようにアクリルカバーを元の位置に戻し、ネジで閉めて固定します。

緊急時、もし機器が動かなくなったら

緊急時、機器が正常に動作しない場合の対応の方法について説明します。

非常業務操作器
(EM-E96)



コンピュータースイッチ

万一、機器が正常に動作しなくなった場合、放送が必要であれば、非常業務操作器（EM-E96）のポケットカバー内、コンピュータースイッチを「切」にしてください。

非常業務操作器（EM-E96）の非常業務兼用マイクで一斉放送をすることができます。（このとき“ピー”というブザー音が鳴り続けます。）ただし、停電時には放送できません。

放送が終了しましたら、コンピュータースイッチを「入」にして速やかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご故障の状態をご連絡ください

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品は、ユニットごとに保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

- ・機種名：EM-E96（例）
- ・故障の状態をできるだけ詳しく
- ・ご購入年月日
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

本システムの構成機器は許容動作温度は0℃～40℃です。

(0 dBs = 0.775 V)

本機の定格および外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

EM-S102 モニターユニット

◆入力レベル	100 V 定電圧ライン（電力増幅器出力を受ける）
◆入力回路数	5 回路
◆定格出力	1 W（モニター音量最大時）
◆音量調節器	非常時プリセット 4 段、業務時 5 段切換
◆モニタースピーカー	12.5 cm×7.85 cm楕円スピーカー
◆出力監視メーター	11 点 LED バーグラフ
◆電源	DC 24 V、60 mA（共通制御ラインより供給を受ける）
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 65 mm（パネル面より）
◆質量	1.3 kg
◆外形寸法	幅 482 mm×高さ 88 mm×奥行 65 mm（パネル面より）
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 / 0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）

EM-M102 ミキサーユニット

◆入力回路	入力レベル	入力インピーダンス	コネクター
入力 1・2・3	マイク／ライン切換 -60 dBs / -10 dBs	1 kΩ 電子平衡	複式フォノジャック
入力 4	フォノ／ライン切換 -54 dBs (RIAA) / -10 dBs -60 dBs (RIAA) / -16 dBs	50 kΩ 50 kΩ	複式フォノジャック ピンジャック (L・R)
アナウンスマイク	-50 dBs (AGC 付)	10 kΩ	フォノジャック
ライン	-10 dBs	10 kΩ	ピンジャック (L・R)
W.チャイム	-6 dBs	1 kΩ 平衡	複式フォノジャック
リモコンマイク	0 dBs	1 kΩ 平衡	複式フォノジャック
ラジオ	-10 dBs	50 kΩ	専用コネクター
4 音チャイム	-16 dBs	50 kΩ	専用コネクター
◆出力回路	出力レベル	出力インピーダンス	コネクター
ライン出力	0 dBs	300 Ω 平衡	複式フォノジャック
録音出力	0 dBs	1 kΩ	ピンジャック (L・R)
◆音質調整	低音、高音独立 (100 Hz、10 kHz ± 10 dB)		
◆周波数特性 (1 kHz 基準)	50 Hz ~ 15 kHz ± 3 dB		
◆歪率	0.5 % 以下 (50 Hz ~ 15 kHz)		
◆信号対雑音比	50 dB 以上		
◆電源	DC 24 V、180 mA PA-F2-G、DM-2 組込時（共通制御ラインより供給を受ける）		
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm（パネル面より）		
◆質量	3.0 kg		
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 200 mm（パネル面より）		
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 （マンセル 3Y 6 / 0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）		
◆4 音チャイム	DM-2 組込可能		
◆AM/FM ラジオ	PA-F2-G 組込可能		
◆アナウンスマイク	MV-P360 適合		

仕様（つづき）

EM-E12 回線追加ケース

◆回線数	回線追加ユニット（EM-E5）4 個まで組込可（追加 5 回線 × 4=20 回線）
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 70 mm（パネル面より）
◆電源	DC 24 V、20 mA（EM-E96 より供給を受ける） EM-E5 1 台取付時 28 mA EM-E5 2 台取付時 36 mA EM-E5 3 台取付時 44 mA EM-E5 4 台取付時 52 mA
◆質量	2.0 kg EM-E5 1 台取付時 2.1 kg EM-E5 2 台取付時 2.2 kg EM-E5 3 台取付時 2.3 kg EM-E5 4 台取付時 2.4 kg
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 70 mm（パネル面より）
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6/0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）

EM-N112 非常電源ユニット

◆充電部	充電方式 トリクル充電 点検スイッチ ノンロックプッシュ式（プッシュ時、放電抵抗を接続して蓄電池電圧を点検） 充電中表示灯 2 個付（発光ダイオード）
◆蓄電池部	使用蓄電池 密閉ニッケルカドミウム蓄電池 NB-60 型または NB-35B 型 2 台まで収容可能 蓄電池容量 NB-60 型 DC24 V、6000 mAh/0.2CmA、充電電流 160 mA NB-35B 型 DC24 V、3500 mAh/0.2CmA、充電電流 100 mA （古河電池製） 適合規格 蓄電池設備認定委員会合格品
◆AC 動作時	1) 常時蓄電池の充電を行う 2) 制御用電流容量 DC 24 V 最大 1.6 A（共通制御ライン）
◆DC 動作時	1) 停電時（含非常時）制御用電流 2) 非常で停電時のみ「蓄電池出力端子」に電流を供給する
◆定格放電電流	使用周囲温度 0℃～+40℃ NB-60 型／1 本 14 A（10 分） NB-35B 型／1 本 8 A（10 分）
◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz 70 W（最大時）
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 300 mm（パネル面より）
◆質量	6.0 kg（バッテリーは含まず）
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 300 mm（パネル面より）
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y 6／0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）
◆その他	パネルを開閉することにより前面から蓄電池交換可能

EM-P11 主電源ユニット

◆電源供給部	
AC 100 V 入力	30 A サーキットブレーカー×1
AC 100 V 出力	スイッチ連動 : 9 (合計最大 8 A×3) スイッチ非連動 : 3 (合計最大 3 A)
◆電源起動端子	2P モレックス×2、端子板×1 回路 (メーク接点)
◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
◆消費電力	5 W
◆ラックマウントサイズ	EIA 1 U、奥行 300 mm (パネル面より)
◆質量	4.0 kg
◆外形寸法	幅 482 mm×高さ 44 mm×奥行 300 mm
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)

EM-P22 追加 DC ユニット

◆出力電圧、容量	DC 24 V、3.2 A
◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
◆消費電力	112 W
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm (パネル面より)
◆質量	5.7 kg
◆外形寸法	幅 482 mm×高さ 88 mm×奥行 200 mm
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)

EM-E5 回線追加ユニット

◆回線数	5 回線
◆組込対象ユニット	回線追加ケース (EM-E12 専用)
◆電源	DC 24 V、8 mA (EM-E12 より供給を受ける)
◆質量	60 g
◆外形寸法	幅 190 mm×高さ 33 mm×奥行 25 mm
◆付属品	アクリルパネル

EM-Y92 主入力制御ユニット

◆非常リモコン接続端子	3 系統 (端子板)、最大接続数 8 台 (常時 24 V、E、非常、CPU OFF、非常 RM H/C、BUS H/C、モニター H/C)
◆業務リモコン接続端子	2 系統 (端子板)、最大接続数 6 台 (E、AC 時 24 V、電源 ON、チャイム ON、一斉、本体使用中、業務 RM H/C)
◆マルチ業務リモコン 接続端子	電源 / BUS 2 系統、音声 3 系統 (端子板)、最大接続数 8 台 (E、AC 時 24 V、BUS H/C、マイク RM H/C)
◆総合操作部接続端子	1 系統 (端子板) (音声入力 H/C、音声出力 H/C、SD H/C、RD H/C)
◆起動入力	標準 25、最大 45 (入出力拡張用 EM-L92 増設時)
◆停電起動入力	付
◆状態出力	5 (火災放送中 / 一斉火災放送中 (切換)、マイク放送中、音声警報メッセージ出力中、 一斉放送中、本体とリモコンの業務放送中)
◆電源	DC 24 V、180 mA (非常電源ユニットより供給を受ける)
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U
◆質量	3.5 kg
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)

仕様（つづき）

EM-E96 非常業務操作器

◆出力制御	20 回線および一斉 回線追加ケース（EM-E12）および回線追加ユニット（EM-E5）により最大 320 回線まで増設可
◆出力スイッチ	5 回線ごとに、放送階選択、業務ブロック、BGM ブロック設定可
◆非常放送	音声警報式、一斉火災放送移行機能付き
◆音声警報	日本語 / 英語
◆出火階情報	490 種類標準搭載
◆自火報連動	連動、連動一斉
◆火災音信号	電子ブザー
◆操作スイッチ	非常起動、非常復旧、火災放送、非火災放送、緊急一斉、一斉、放送復旧、チャイム（アップ、ダウン）、表示切換、照明
◆操作ガイド	音声、液晶表示
◆表示	火災、出火階、作動、主電源、非常電源、連動、連動一斉、発報連動停止、発報放送、火災放送、非火災放送
◆内蔵時計	精度：平均月差±2分
◆液晶表示	5.7 型（10 文字×7 行、LCD 使用フォント：株式会社リムコーポレーション製） ●業務放送内容表示起動表示 （本体、非常リモコン、業務リモコン、マルチ業務リモコン、電話ページング、BGM、アナウンスユニット、報時チャイム、総合操作部、音声ファイル、PC 他） ●異常発生内容表示 （蓄電池異常、パワーアンプ異常、スピーカー回線短絡、通信異常、本体メモリー異常他） ●その他 （点検中表示、システム設定表示、履歴確認表示 他）
◆内蔵チャイム	4 音チャイム（アップ、ダウン）
◆音声ファイル	45 種の音源を登録し演奏可能 工場出荷時 4 種類（ウエストミンスターの鐘、よろこび、あおぞら、ディンドン）を登録済
◆その他内蔵音声	点検時音声（3 種類）、サービスチェック時音声（300 Hz）
◆モニタースピーカー	出力 0.45 W、音量調節器付、ハウリング防止回路付
◆出力レベル計	4 点 LED
◆動作モード	通常 / 音量調節 / 操作練習 / 時計合わせ / システム設定 / 動作点検 / システム点検 / 履歴確認
◆PC 接続端子	D-sub 9Pin（RS-232C）
◆時計校正入力	24 V 30 秒有極パルス（親時計より）、コネクター端子台

EM-E96 非常業務操作器（つづき）

◆ミキサー部	入力レベル	入力インピーダンス	コネクター
ミキサー (EM-M102) 入力	-20 dBs/0 dBs	5 k Ω	コネクター端子台
アナウンスマイク入力	-45 dBs	10 k Ω (AGC)	メタルコネクタ
電話ベーキング入力	-20 dBs/0 dBs	2 k Ω 平衡	コネクター端子台
報時チャイム入力	-20 dBs/0 dBs	2 k Ω 平衡	コネクター端子台
アナウンスユニット入力	-20 dBs/0 dBs	2 k Ω 平衡	コネクター端子台
BGM 入力	-20 dBs/0 dBs	2 k Ω 平衡	コネクター端子台
PC 入力	-60 dBs/-20 dBs	1 k Ω 平衡	コネクター端子台
非常リモコン入力	+6 dBs	5 k Ω 電子平衡	端子板 (EM-Y92)
業務リモコン入力	0 dBs	2 k Ω 電子平衡	端子板 (EM-Y92)
マルチ業務リモコン入力	+6 dBs	5 k Ω 電子平衡	端子板 (EM-Y92)
総合操作部音声入力	+6 dBs	5 k Ω 平衡	端子板 (EM-Y92)
総合操作部音声出力	+6 dBs	100 Ω 平衡	端子板 (EM-Y92)
音声出力	0 dBs	100 Ω 平衡	コネクター端子台
モニター音声出力	+6 dBs	200 Ω 平衡	端子板 (EM-Y92)
◆周波数特性(1 kHz基準)	50 Hz ~ 15 kHz \pm 2 dB (アナウンスマイクを除く) アナウンスマイク : 150 Hz -3 dB \pm 2 dB, 15 kHz -1dB \pm 2 dB		
◆歪率	1 %以下 (30 kHz ローパスフィルター)		
◆S/N	65 dB 以上 (アナウンスマイク以外、30 kHz ローパスフィルター) 60 dB 以上 (アナウンスマイク、30 kHz ローパスフィルター)		
◆アナウンスマイク	ムービングコイル (ダイナミック) 型、ハンドマイクロホン付属		
◆電源	DC 24 V、600 mA (非常電源部より供給を受ける)		
◆ラックマウントサイズ	EIA 6 U、奥行 70 mm (パネル面より)		
◆質量	5.1 kg		
◆外形寸法	幅 482 mm \times 高さ 264 mm \times 奥行 85 mm		
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)		

仕様（つづき）

PA-MX52 マトリックスコントロールユニット

◆入力回路	
音声入力 1 ～ 8	0 dBs / -20 dBs（スイッチ切替）、10 k Ω 平衡、フォノジャック
追加音声入力 1 ～ 8	0 dBs、10 kW 不平衡、フォノジャック
非常入力	音声入力 1 を兼用
音量調節	各入力に VR 付（フロントパネル調節穴より）
レベル設定スイッチ	スライドスイッチ（フロントパネル調整穴より）
◆出力回路	
音声出力 1 ～ 8	0 dBs、600 Ω 不平衡、フォノジャック
追加音声出力 1 ～ 8	音声入力回路と並列接続
◆制御	
手動制御	出力選択スイッチ（8 ビットディップスイッチ）8 個付
外部制御	制御数 8、専用コネクター（メーク信号）
非常制御	非常時全出力を音声入力 1 に強制切替（共通制御ラインによる）
バス制御	EM-E96 非常通常操作器用専用バス（20P フラットケーブル） 4 台（16 入力 \times 16 出力 MAX）まで制御可（3 台は不可）
制御切替	背面スライドスイッチ（外部 / 自動 / 手動）
◆表示	
入力信号表示	緑色 LED 点滅
クロスポイント表示	緑色 LED
非常表示	赤色 LED
◆周波数特性（1 kHz 基準）	50 Hz ～ 20 kHz \pm 3 dB
◆歪率	0.1 % 以下
◆クロストーク	60 dB 以上（1 kHz）
◆電源	AC 100V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V（非常時専用非常電源より供給）
◆消費電力	7.0 W（電気用品安全法）、DC 150 mA（DC 24 V 非常時）
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm（パネル面より）
◆質量	4.0 kg
◆外形寸法	幅 482 mm \times 高さ 88 mm \times 奥行 200 mm
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6/0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）

EM-L92 回線制御ユニット

◆入力端子	
自火報入力	20 回線（EL \times 20、EF \times 1、EC \times 2）
パワーアンプ入力	4 回線（H/C \times 4 組）
◆出力端子	
スピーカー出力	20 回線 （SPN、SPR、SPC 各 20、最大 200 W / 回線）
RB 出力	1 回路 （RB+ / RB-、最大 300 mA）
EB 出力	1 回路 （無電圧メーク、DC 50 V / 1 A）
非常時出力	メーク、ブレーク 各 1 回路 （リレー接点 DC 50 V / 1 A）
◆電源	DC 24 V、600 mA（非常電源部より供給を受ける）
◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U
◆質量	3.9 kg
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6/0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年）近似）
◆入出力拡張用として使用時	・起動入力 20（自火報入力を使用） ・制御出力 20（スピーカー出力を使用）

PA-MX92 デジタルマトリックスユニット

◆入力回路

音声入力 1 ～ 10	0 dBs / -20 dBs、10 k Ω 電子平衡、3P コネクター端子台 × 10
音声入力 11 ～ 20	0 dBs / -20 dBs、10 k Ω トランス平衡、3P コネクター端子台 × 10

追加音声入出力 1 ～ 20	入力並列接続用、30P コネクター × 2
非常入力	音声入力 1 を兼用
音量調節	各入力に VR 付
レベル切換スイッチ	スライドスイッチ (0 dBs / -20 dBs 切換)

◆出力回路

音声出力 1 ～ 10	0 dBs、100 Ω トランス平衡、3P コネクター端子台 × 10
音量調節	各出力に VR 付

◆制御

モード設定	通常 / 外部制御 / テストモード (ディップスイッチ付き)
外部制御	RS-232C (D-sub 9Pin)
非常制御	非常時全出力を音声入力 1 に強制切り換え (共通制御ラインによる)
バス制御	EM-E96 非常業務操作器用専用バス (10P コネクターケーブル) 2 台 (20 入力 × 20 出力 MAX) まで制御可 (3 台は不可)

◆表示

入力信号表示	黄色 LED
クロスポイント表示	緑色 LED (オン時点灯、ミキシング時点滅)
非常表示	赤色 LED
電源表示	緑色 LED

◆AD コンバーター	24 bit
◆サンプリング周波数	48 kHz
◆周波数特性 (1 kHz 基準)	50 Hz ～ 20 kHz \pm 3 dB
◆歪率	0.1 %以下 (1 kHz)
◆S/N	70 dB 以上
◆クロストーク	各入力、出力間 -60 dB 以下 (7 kHz)
◆フェードインアウト	5 パターン
◆ミキシング	2 入力ミキシング可能
◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V (非常時専用非常電源より供給)
◆消費電力	10 W (電気用品安全法)、DC 300 mA (DC 24 V 非常時)

◆ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 300 mm (パネル面より)
◆質量	5.0 kg
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 300 mm
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6/0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)

仕様（つづき）

	EM-A083 80 W パワーアンプ	EM-A163 160 W パワーアンプ	EM-A244 240 W パワーアンプ	EM-A364 360 W パワーアンプ
◆適合規格	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書
◆定格出力	80 W	160 W	240 W	360 W
◆最大出力	100 W	200 W	300 W	420 W
◆負荷 インピーダンス	125 Ω (100 V 定電圧ライン)	63 Ω (100 V 定電圧ライン)	42 Ω (100 V 定電圧ライン)	28 Ω (100 V 定電圧ライン)
◆周波数特性	50 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)	50 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)	50 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)	50 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)
◆歪率	1 %以下	1 %以下	1 %以下	1 %以下
◆入力レベル	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変
◆入力 インピーダンス	75 kΩ (電子平衡)	75 kΩ (電子平衡)	75 kΩ (電子平衡)	75 kΩ (電子平衡)
◆信号対雑音比	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)
◆電源	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、 非常電源部より供給を受ける)	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、 非常電源部より供給を受ける)	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、 非常電源部より供給を受ける)	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、 非常電源部より供給を受ける)
◆消費電力	63 W、定格出力時 162 W	114 W、定格出力時 321 W	178 W、定格出力時 488 W	230 W、定格出力時 666 W
◆消費電流	4.6 A (DC 24 V、定格出力時)	9.3 A (DC 24 V、定格出力時)	14.1 A (DC 24 V、定格出力時)	19.5 A (DC 24 V、定格出力時)
◆ラックマウン トサイズ	EIA 3U、奥行 200 mm (パネル面より)	EIA 3U、奥行 200 mm (パネル面より)	EIA 4U、奥行 200 mm (パネル面より)	EIA 4U、奥行 200 mm (パネル面より)
◆質量	10 kg	11.5 kg	15 kg	18 kg
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 132 mm × 奥行 200 mm (パネル面より)			
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)			



	EM-A243 240 W パワーアンプ	EM-A363 360 W パワーアンプ
◆適合規格	国土交通省（旧建設省）電気設備 工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省）電気設備 工事共通仕様書
◆定格出力	240 W	360 W
◆最大出力	300 W	420 W
◆負荷 インピーダンス	42 Ω (100 V 定電圧ライン)	28 Ω (100 V 定電圧ライン)
◆周波数特性	70 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)	70 Hz ~ 15 kHz (+0 / -3 dB)
◆歪率	5 %以下	5 %以下
◆入力レベル	0 dBs (=0.775 V)	0 dBs (=0.775 V)
◆入力 インピーダンス	20 kΩ（電子平衡）	20 kΩ（電子平衡）
◆信号対雑音比	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)	75 dB 以上 (電力増幅器単品測定)
◆電源	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、非常電源部より 供給を受ける)	AC 100 V、50 / 60 Hz DC 24 V (停電時、非常電源部より 供給を受ける)
◆消費電力	120 W、定格出力時 380 W	170 W、定格出力時 550 W
◆消費電流	14 A (DC 24 V、定格出力 -3 dB 時)	19 A (DC 24 V、定格出力 -3 dB 時)
◆ラックマウントサイズ	EIA 3U、奥行 200 mm (パネル面より)	EIA 3U、奥行 200 mm (パネル面より)
◆質量	9.9 kg	10.7 kg
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 132 mm × 奥行 200 mm（パネル面より）	
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y6 / 0.6 近似) (日塗工 BN-65 (2003 年) 近似)	

仕様（つづき）

PA-U1、PA-U2、PA-U3 ブランクパネル

◆質量	PA-U1……270 g PA-U2……460 g PA-U3……650 g
◆外形寸法	PA-U1……幅 482 mm × 高さ 44 mm × 奥行 15 mm (EIA 1U) PA-U2……幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 15 mm (EIA 2U) PA-U3……幅 482 mm × 高さ 132 mm × 奥行 15 mm (EIA 3U)
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル3Y6 / 0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年） 近似）

PA-U1V ベンチレートパネル

◆質量	200 g
◆ラックマウントサイズ	EIA 1 U
◆外形寸法	幅 482 mm × 高さ 44 mm × 奥行 15 mm
◆仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル3Y6 / 0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年） 近似）

PS-RU40 ファンユニット（低騒音タイプ）

◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz （3 m 電源コード付）
◆消費電力	28 W（50 Hz / 60 Hz）
◆最大風量	5.8 m ³ / min
◆騒音	37 dB
◆質量	1.6 kg
◆外形寸法	315 mm × 260 mm × 93 mm
◆仕上	シャーシ : SPCC 鋼板 t = 1.6、 ファン : アルミ t = 1.0

PS-R413B ファンユニット

◆電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz （3 m 電源コード付）
◆消費電力	15 W（50 Hz）、14 W（60 Hz）
◆最大風量	2.6 m ³ / min
◆騒音	42 dB（50 Hz）、46 dB（60 Hz）
◆質量	540 g
◆外形寸法	119.5 mm × 119.5 mm × 38 mm

PA-R641 側開式ラックケース

◆ユニット取付寸法	1,826 mm (EIA 41 ユニット)
◆ユニット取付最小間隔	44 mm
◆質量	約 55 kg
◆仕上	アイボリー焼付塗装 （マンセル 7.5Y8.5 / 1 近似） （日塗工 B27-85B（2003 年） 近似）
◆外形寸法	幅 570 mm × 高さ 2,000 mm × 奥行 455 mm

PA-R631 ミニラックケース

◆ユニット取付寸法	1,335 mm (EIA 31 ユニット)
◆ユニット取付最小間隔	44 mm
◆質量	約 40 kg
◆仕上	アイボリー焼付塗装 （マンセル 7.5Y8.5 / 1 近似） （日塗工 B27-85B（2003 年） 近似）
◆外形寸法	幅 570 mm × 高さ 1,503 mm × 奥行 455 mm

PA-U113 ラックマウント金具

◆適合機種	CD オートマチックチェンジャー (XL-F502)
◆ラックマウントサイズ	EIA 3 U
◆質量	900 g
◆仕上	ライトグレー焼付塗装 （マンセル 3Y6 / 0.6 近似） （日塗工 BN-65（2003 年） 近似）



お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(03)5684-9311** [代表]

FAX **(03)5684-9317**

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社
プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7203